

国分寺市長 井澤 邦夫 殿

令和4年度

国分寺市プレイステーション
事業報告書

国分寺市並木町 1-7-7 ピッコロ 101 号室

特定非営利活動法人 冒険遊び場の会

代表理事 武藤 陽子

令和5年 5月 30日

国分寺市長 井澤 邦夫 殿

国分寺市並木町 1-7-7 ピッコロ 101 号室

特定非営利活動法人 冒険遊び場の会

代表理事 武藤 陽子

令和4年度 国分寺市プレイステーション指定管理

事業報告書

このことについて、令和4年度国分寺市プレイステーション指定管理業務を、協定書第5章第25条に基づき別紙活動報告書のとおり完了いたしましたので報告いたします。

(1) 管理業務等の体制及び実施状況(管理業務及び自主事業)

管理業務

国分寺市プレイステーション

*プレイリーダー

火曜日から土曜日 および第2・4日曜日	常時4名 常勤プレイリーダー 2名 9:00~18:00 (1時間休憩) 非常勤プレイリーダー2名 9:30~17:30 (1時間休憩) *土日の利用者が多いときは、加配をおこなった。
------------------------	---

*事務

火曜から土曜日 および第2・4日曜日	常時1名 非常勤 1名 9:30~17:30 (1時間休憩)
-----------------------	-----------------------------------

国分寺市プレイステーション内親子ひろば 「BOUKENどんどこ」

*子育てサポーター

火曜日から土曜日	常時3名 常勤プレイリーダー 1名 9:30~17:00 (1時間休憩) 非常勤プレイリーダー2名 9:30~16:30 (1時間休憩)
----------	--

*カウンセラー、助産師、管理栄養士

毎週1回	カウンセラー：毎週木曜日 助産師：毎週水曜日午前 管理栄養士：毎週水曜日午後
------	--

*全体統括

統括1名(プレイステーション、どんどこ統括)

実施状況

国分寺市プレイステーション

令和4年度 利用実績(親子ひろばの人数を含む)

	幼児	小学生	中高生	大人	計	開場日	ボランティア
4月	980	886	68	869	2,803	23	9
5月	747	657	50	720	2,174	21	41
6月	908	709	37	838	2,492	24	34
7月	632	465	40	613	1,750	24	21
8月	589	500	68	546	1,703	23	12
9月	680	498	84	669	1,931	23	8
10月	743	567	78	709	2,097	23	16
11月	738	532	81	684	2,035	22	8
12月	611	501	42	572	1,726	21	8
1月	611	473	41	603	1,728	21	5
2月	685	506	55	691	1,937	21	5
3月	965	778	56	921	2,720	23	8
計	8,889	7,072	700	8,435	25,096	269	175

(注1) 11月：ふろしき市（参加者70名）は含まず

(注2) 12月：子どもまつり（参加者290名）は含まず

国分寺市プレイステーション内親子ひろば 「BOUKENどんどこ」

令和4年度利用実績

	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳 以上	計	母親	父親	その他	計
合計	1,530	1,766	820	482	358	4,956	3,874	457	88	4,419

(2) 決算状況及び施設の利用実績（決算収支状況、公の施設の利用実績（利用者数、利用不承認等の件数・その理由）

決算収支状況（別紙1）

利用実績

【利用団体】

自主保育グループ：2グループ（ぐるんぱ、ハンティントン：日常的に利用

放課後デイサービス「ツリーハウス：日常的に利用

ガールスカウト：7月24日（日）子ども10名 引率5名

新町学童保育所：3月31日（金）子ども75名 大人4名

学童保育じゃんぷ東戸倉：9月10日（土）子ども4名 大人3名

放課後デイサービス「こどもクラブ」：11月13日（日）子ども20名 大人10名

森の幼稚園：3月15日 子ども10名 大人5名

【見学】

4月 熊川児童館職員

5月 武蔵野美術大学学生

6月 国分寺市青少年育成東地区委員会、国分寺市青少年中央地区委員会

7月 NPO 法人さとやま学校・東京（檜原村）、テレビ東京

8月 谷保親子ひろば、国立農園の会、宮城大学大学院生

9月 小平なみき保育園

11月 高知商業高等学校生徒、一橋大学学生

12月 茶間茶間、西宮遊び場作ろう会

令和5年1月 ピカソ、民生児童委員、NPO 法人育て上げネット

2月 市議会議員

随時 地域の方

【実習およびボランティア】

・地域ボランティア（随時）

・東京経済大学学生 地域貢献：21名（期間：5月、6月、8月、10月、11月）

【実習】

・東京慈恵会医科大学：10名（期間：①5月24日～28日。②5月31日～6月4日）

【地域との連携】

・国分寺市立第一中学校 職場訪問：4名（12月6日）

・おはなしのくにピピピ講演（5月、11月）

- ・西地区こどもまつり（国分寺市青少年育成西地区委員会主催）へ参加（4月29日）
- ・恋ヶ窪公民館祭へ参加（10月15日）

【利用者懇談会】

- ・子ども向け：9月24日（土）、25日（日） 参加者：小学生11名、中高生 2名
- ・大人向け：9月25日（日） 参加者：大人 5名、中高生 2名

【避難訓練】

- ・火災編 6月21日（火）～24日（金）
10月18日（火）～21日（金）
- ・地震編 11月15日（火）～18日（金）
- ・不審者編 3月14日（火）～17日（金）

【自主事業】

- ・子どもまつり 12月18日（日）12：30～15：00 参加者：290名
- ・ふろしき市 11月28日（月）10：00～12：00 参加者：70名

(2) 従業員育成に係る研修実施状況

実施研修（自主事業）

令和4年3月 （令和4年度分研修先行実施）	○会のビジョンと戦略、NPOと公共事業、新たな仕事体験・居場所づくり事業について（全体研修） ○安全管理マニュアルの見直しについて ○遊びの引き出しを増やす研修
令和4年5月	○「応急手当研修」
令和4年6月	○「遊び場のゾーニング」 ○グループワーク「プレイリーダーと子育てサポーター、会のビジョンと公共事業」
令和4年7月	○スタッフの疑問や不安を話し合う
令和4年9月	○講演「障がいのある子どもと遊び」（全体研修） （講師：国分寺おもちゃ病院院長） ○グループワーク「多様な人が楽しめる身近な公園でのイベント計画」（全体研修）
令和4年11月	○駄菓子屋内での安全管理についてロールプレイ
令和4年12月	○周辺地域での親子向けカフェの調査と学習
令和5年3月	○活動の振りかえり

プレイリーダー講習会（別紙2）

- 令和4年11月20日 フィールドワーク「光る泥団子をつくろう」
- 令和5年 1月9日 シンポジウム「子どもの居場所を閉じた居場所から開かれた居場所に」

(4) 利用者意見及び自己評価（利用者アンケート調査結果、事業実施状況自己評価）

利用者アンケート調査（別紙3）

- 国分寺市プレイステーションアンケート
実施期間 令和4年11月1日～30日

対象者 国分寺市プレイステーション利用者

大人向け・子ども向け(小学生以上)

方法 利用者全員に配布しその日のうちに記入してもらい回収する。

アンケート結果の公表 利用者に分かりやすい方法で掲示

○親子ひろばアンケート

実施期間 令和4年9月1日～30日(市内親子ひろばアンケートの実施日程に準ずる)

対象者 親子ひろば「BOUKEN どんどこ」利用者

方法 利用者全員に配布しその日のうちに記入してアンケート箱に入れてもらう。

アンケート結果の公表 利用者に分かりやすい方法で掲示

利用者懇談会 (別紙4)

○子ども会議 ①令和4年9月24日(土) 15:00～16:00

②令和4年9月25日(日) 14:00～15:00

○大人会議 令和4年9月25日(日) 15:00～16:00

事業実施状況自己評価 (別紙5)

(5) 苦情対応に係る記録 (別紙6)

(6) 事業計画書に掲載した計画の実施状況 (別紙7)

収支決算報告書

(令和4年度)

令和4年4月1日から令和5年3月31日

施設名	国分寺市プレイステーション
指定管理者名	NPO法人 冒険遊び場の会
指定管理期間	令和2年4月1日から令和5年3月31日

【指定管理業務に係る決算】

1. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成 率	摘要
指定管理料	20,647,097	20,647,097	100%	※消費税込
事業収入(市指定)	100,000	80,500	81%	プレイリーダー講習会参加費
本部繰入金	504,843	504,843	100%	
その他の収入	0	560		冒険遊び場の会より算入
収入合計	21,251,940	21,233,000	100%	

2. 支出の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成 率	摘要
人件費				
職員給与	3,181,200	3,234,245	102%	244,700円×12か月 + 賞与・残業
アルバイト給与	8,139,480	7,839,146	96%	アルバイト給与時給1,060円/1,100円、常勤代替、有給休暇含む
事務人件費	2,048,480	2,031,310	99%	事務アルバイト給与時給1,060円/1,100円、常勤代替、有給休暇含む
交通費	80,000	78,894	99%	通勤費・研修交通費等
社会保険料	1,500,000	1,746,368	116%	社会保険料・労働保険料
需要費				
消耗品費	181,000	163,440	90%	ゴミ袋、ビブス他
事務用品費	41,000	35,683	87%	筆記具、ファイル、インク他
広報印刷費	40,000	32,535	81%	印刷代他
光熱水費	1,517,119	1,601,889	106%	電気料金・水道料金
燃料費	26,000	30,892	119%	ガソリン代
役務費				
通信費	146,000	141,598	97%	電話料金・インターネット料金
保険料	194,000	194,460	100%	傷害保険料、賠償責任保険料
賃借料				
車両リース代	94,000	92,400	98%	車両リース料4か月分(3事業で按分)
委託料				
清掃委託費	800,000	824,450	103%	清掃委託費、換気扇清掃費
機械警備委託料	110,000	104,280	95%	セコム
原材料費				
活動材料費	200,000	185,872	93%	鋸替刃、工作道具、材料、ペンキ他
その他				
プレイリーダー講習会	211,000	205,354	97%	
施設維持費	131,000	78,654	60%	カラーコーン、パー、防風ネット他
支払手数料		3,465		払込手数料
諸経費	1,691,661	1,669,561	99%	事務所経費按分分、税理士・社会保険労務士支払報酬按分分、スタッフ研修人件費、管理人件費他
租税公課	920,000	938,504	102%	消費税簡易課税
実質収益				
支出合計	21,251,940	21,233,000	100%	予算達成率は実質収益を控除

【注意】

科目については、必要に応じて適宜追加修正すること。

消費税課税対象経費については、摘要欄(※印)を表示すること。

指定管理業務に係る決算と自主事業に係る決算は分けて記載すること。

【自主事業に係る決算報告】

1. 収入の部

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘要
自主事業に係る収入	210,000	15,350	7.3%	バザー、飲み物等販売
本部繰入金	118,108	118,108	100.0%	
収入合計	328,108	133,458	40.7%	

2. 支出の部

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成率 (B÷A)	摘要
自主事業に係る支出	208,160	133,700	64.2%	仕入、消耗品費、人件費等
実質収益		-242		
支出合計	208,160	133,458	64.1%	

【注意】

科目については、必要に応じて適宜追加修正すること。

消費税課税対象経費については、摘要欄(※印)を表示すること。

指定管理業務に係る決算と自主事業に係る決算は分けて記載すること。

※収支計算に対する総括・自己評価

・電気料金高騰により、光熱水費が大きくなった。

【指定期間中の状況】

指定管理期間	令和 2年 4月 1日 から 令和 5年 3月 31日
指定管理費 収入総合計額(円)	61,132,163
指定管理費 支出総合計額(円)	61,132,723

指定管理費 市提示の総額上限額(円)	61,132,163
--------------------	------------

(単位:円)

指定期間中の 決算の状況	収入	支出	収支
令和2年度	20,146,434	19,130,092	1,016,342
令和3年度	20,258,132	20,769,631	-511,499
令和4年度	20,727,597	21,233,000	-505,403
計	61,132,163	61,132,723	-560

(単位:円)

指定期間中の 自主事業の収支状況	収入	支出	収支
令和2年度	148,682	67,558	81,124
令和3年度	129,885	92,901	36,984
令和4年度	15,350	133,700	-118,350
計	293,917	294,159	-242

収支決算報告書

(令和 4年度)

令和 4年 4月 1日 から 令和 5年 3月 31日

施設名	国分寺市プレイステーション内 親子ひろば
指定管理者名	NPO法人 冒険遊び場の会
指定管理期間	令和 2年 4月 1日 から 令和 5年 3月 31日

【指定管理業務に係る決算】

1. 収入の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成 率	摘要
指定管理料	9,461,008	9,461,008	100.0%	
利用料金収入	0	0		
事業収入(市指定)	0	0		
本部繰入金	89,532	89,532	100.0%	
その他の収入	0	109		冒険遊び場の会より算入
収入合計	9,550,540	9,550,649	100.0%	

2. 支出の部

(単位:円)

科目	予算額 (A)	決算額 (B)	予算達成 率	摘要
人件費				
職員給与	2,304,000	2,311,920	100.3%	192,000円×12か月+残業
アルバイト給与	4,365,410	4,361,715	99.9%	アルバイト給与時給1,060円/1,100円、常勤代替、有給休暇含む
カウンセラー給与	221,000	189,750	85.9%	カウンセラー1名 時給1,600円/1,700円
統括	648,000	648,000	100.0%	統括1名 時給1500円
交通費	70,000	66,698	95.3%	通勤費・研修交通費等
法定福利費	800,000	844,116	105.5%	社会保険料・労働保険料・健康診断
報償費	36,000	33,000	91.7%	講座講師謝金3000円×11回
需要費				
消耗品費	289,528	284,369	98.2%	ジョイントマット、活動材料費
役務費				
傷害保険料	50,000	46,400	92.8%	傷害保険料、賠償責任保険料
その他				
支払手数料	0	220		振込手数料等
諸経費	766,598	764,461	99.7%	事務所経費按分分、税理士・社会保険労務士支払報酬按分分、スタッフ研修人件費、管理人件費他
支出合計	9,550,536	9,550,649	100.0%	予算達成率は実質収益を控除

【注意】

科目については、必要に応じて適宜追加修正すること。
消費税課税対象経費については、摘要欄(※印)を表示すること。
指定管理業務に係る決算と自主事業に係る決算は分けて記載すること。

※収支計算に対する総括・自己評価

コロナ感染症が収束に向かっていることにより、時間制限なく活動をすることができた。そのため、予算通りの執行ができた。

【指定期間中の状況】

指定管理期間	令和 2年 4月 1日 から 令和 5年 3月 31日
指定管理費 収入総合計額(円)	28,361,261
指定管理費 支出総合計額(円)	28,362,974

指定管理費 市提示の総額上限額(円)	28,361,265
--------------------	------------

(単位:円)

指定期間中の 決算の状況	収入	支出	収支
令和2年度	9,430,549	8,920,029	510,520
令和3年度	9,471,308	9,892,296	-420,988
令和4年度	9,461,008	9,550,649	-89,641
計	28,362,865	28,362,974	-109

令和4年度プレイリーダー講習会 報告書

1, フィールドワーク遊び体験 「光る泥団子をつくろう」

令和4年11月20日(日)(13:00~16:00) 市プレイステーション

2, シンポジウム 「子どもの居場所を閉じた居場所から開かれた居場所に」

令和5年1月9日(月・祝)(13:00~16:00) ココブンジプラザ

〈事業の対象・目的〉

対象：子どもの遊びに関心のある大人 2、子どもと関わる仕事をしている大人、子育て中の保護者など

全体の目的：子どもと関わる活動をしている大人に、プレイリーダーの資質を身につけてもらう

(1) フィールドワーク・遊び体験「光る泥だんごをつくろう」

【趣旨】

- ・大人が遊びの体験をすることで、子どもへの共感を育み、遊びの重要性への認識を深めてもらう。
- ・子どもたちが好きな土遊びの魅力、土の魅力を、泥だんごを作ることで体感する。そして子どもたちが感じていることや思いに近づく。
- ・講師 村岡 佐和

【参加者】 55名

【当日のスケジュール】

時間	内容	
13:00~15:10	オリエンテーション	
	講師による説明	目的や手順など
	泥団子づくり	グループに分かれて
15:10~15:50	振り返りと発表	グループごとに発表
15:50~16:00	講師講評・優秀賞発表	
16:00	終了・アンケート	

【概 要】

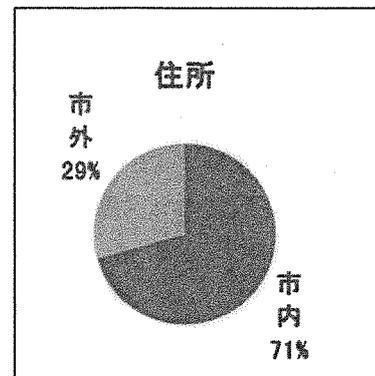
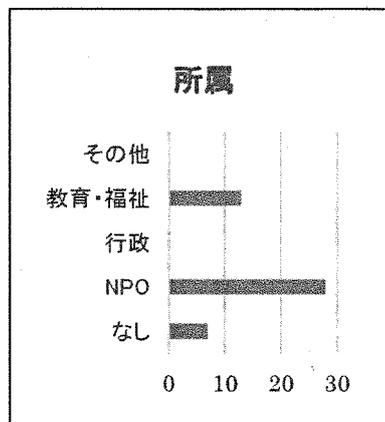
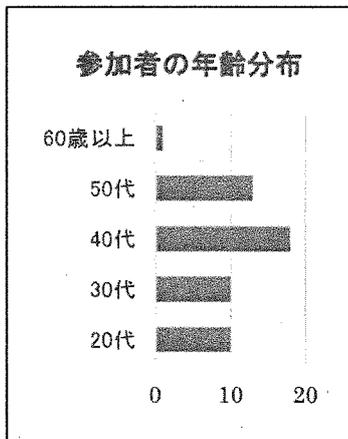
- ・始めに参加者全体で集まり、講師から、泥団子づくりの目的や作り方について説明。ポイントは、どこにもある普通の土と砂を使って作ること。辛抱強く丸くしていき、あるタイミングで磨きをかけることで光る泥団子ができること、などが話された。
- ・参加者を6グループに分けて、グループごとに、作業に必要なものを配置しておいた。
- ・グループ内部で自己紹介をして作業を始め、すぐ壊れてしまう人もいたが、頑張って作り直し、何とか形にしていけることができた。作りながらどうやったらうまくいくかなど話をしながら、時間をかけて泥団子を完成させた。

- ・振り返りでは、子どもたちが夢中になるわけが分かった、と言う人や、できなかったことがすごく悔しかったことなど子どもたちの気持ちに近づけたという感想があった。
- ・最後に一番光る泥団子を作った人を講師が選び、表彰した。

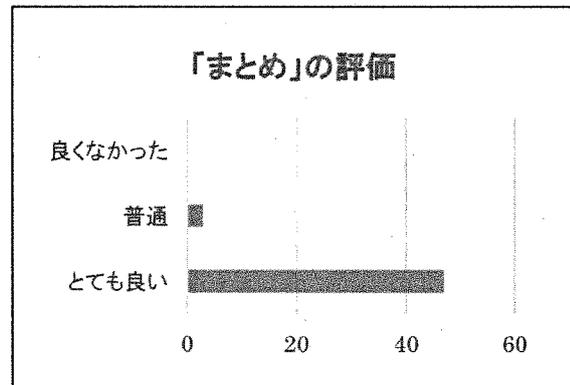
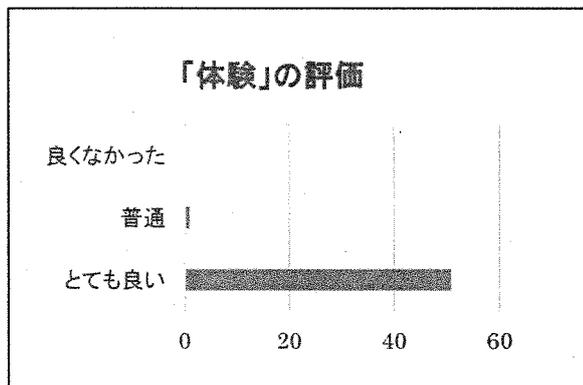
【参加者アンケートの結果】

回答数 52

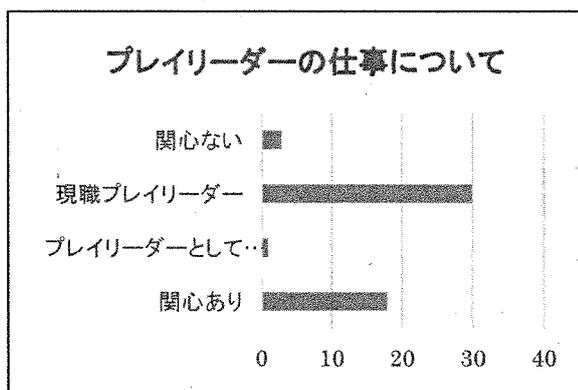
1. 参加者の属性



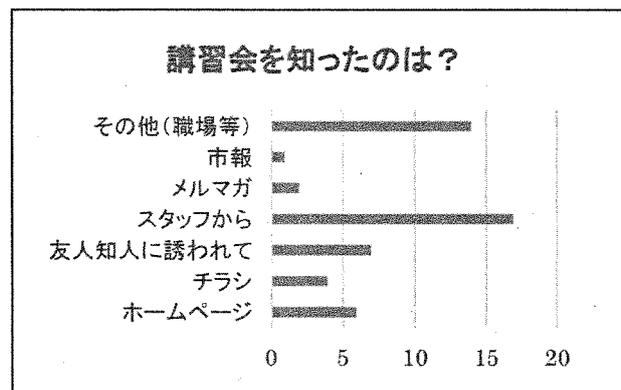
2. 内容について



3. プレイリーダーという仕事について



4. 講習会を知った手立て



5. 感想

- ・本当に楽しかった。とても楽しかった (13)
- ・普段関われない人と話ができ楽しかった。交流しながら作れてよかった (6)
- ・子どもの気持ちが分かった。子どもが途中でやめられない気持ちが分かった。子どもが何十分も穴掘りする気持ちが分かった。時間を忘れて遊ぶ子どものことを実感できた (5)
- ・夢中になれた。普通の泥だけで夢中になれた。 (5)
- ・あっという間だった (4)
- ・集中できる時間が楽しかった (4)
- ・じっくりゆっくり泥団子を作ることができて良かった (3)
- ・無心になれた ・無心になって周りが見えなくなった (3)
- ・童心に帰った。子どもの気持ちになれて良かった (2)
- ・磨くまでたどり着けて良かった (2)
- ・ピカピカになって良かった。・時間内に光るか心配だったがちゃんと光って嬉しかった (2)
- ・時間が足りないくらい楽しかった。
- ・いろいろなことを忘れて良かった。
- ・泥団子づくりがこんなに楽しいと初めて知った。
- ・初めてだったが有意義だった。
- ・保育もあったので集中して楽しめた
- ・初めてだったがとても楽しかった。泥団子づくりがこんなに集中して楽しめるとは思っていませんでした。子どもたちにも教えてあげられるようにしたい
- ・時間が足りず終了が嫌だった。最後の最後に壊れて残念だったが達成感があった。
- ・最後までいかず悔しい思いをした。できない子の気持ちが分かった。
- ・どんなものができるかわからないワクワク感が楽しかった。
- ・ほかの人のやり方が参考になった。一人ではないから雨の中取り組めた。
- ・子どもにじっくり遊べる時間を作ってあげたいと思った。
- ・コツが分かりやすい。
- ・最後にひびが入ってしまい、再チャレンジしたいです。
- ・他の方の作品も見られて良い経験になった。
- ・光る泥団子の意味が分からないまま参加した。やってみて「光る」ってこういうことか、と思った。ついつい凝りたくなり、2時間があっという間だった。
- ・職場に戻って現場で作ってみたい。
- ・集中して人と話さない時と、楽しく話す時があった。
- ・時間ももっとあれば、と子どものように思えた。
- ・もっと思い切り作業できるような現場にしていきたいと思った。
- ・以前に割れたので、今回慎重に作って割れなくてよかった。
- ・みんなで教えながら楽しい時間だった。
- ・様々な気づきがありました。
- ・泥団子からこんなに学ぶことがあって参加してよかった。

- ・泥団子づくりにこんなに時間がかかると思わなかった。
- ・子どもを知るにはやはり実際に体験することが大切ですね。
- ・粒子が細かくなっていく感じや団子が砂をはじく漢字を体感できた。
- ・大人と真剣になって泥団子を作るのが面白かった

6. 改善点

- ・時間がもう少し欲しかった。(4)
- ・残りの白砂を小学生のためにとっておいても良かったかなと。
- ・寒い
- ・作り始めたら衣類の着脱が難しくなった。水分含めきちんと用意しておけばよかった。
- ・暖かい時期が良かった。(カイロ、飲み物ありがとうございます)
- ・お茶は振り返りタイムにするのが良いと思う。
- ・天気の良い日にやりましょう。

7. 実習したい事

- ・木工作 (5)
- ・基地づくり (3)
- ・火起こし (2)
- ・竹とんぼ、竹工作 (2)
- ・鬼ごっこ、集団遊び (2)
- ・小刀でスプーンづくり
- ・ゼロ歳1歳児の遊び方、2、3歳児の遊び方など年齢別接し方
- ・今日みたいな遊び、昔遊び
- ・棒パン
- ・子どもたちの泥団子づくり大会
- ・釘ナイフ・釘刺し

(2) シンポジウム 「子どもの遊びを閉じた居場所から開かれた居場所へ」

【趣 旨】

地域で子どもたちが生き生き過ごせるために、学校や遊び場などを地域社会に開き、子どもの意見を聞きながら運営するなど、特徴ある活動を行っている事例について話を伺う。そして子どもたちの育ちを支えるための活動では何を大切にすべきか、どのような工夫が必要なのか、について学ぶ。

- シンポジスト
- | | |
|-------------------|---------|
| ・大田区気まぐれ八百屋だんだん | 近藤 博子氏 |
| ・横浜総合高校 ようこそカフェ | 尾崎 万里奈氏 |
| ・市プレイステーションの居場所活動 | 奥富 裕司氏 |
- ファシリテーター 森本 扶氏 (子ども白書編集長)

【参加者】 65 名

【当日のスケジュール】

時間		内容
13:30~16:00	シンポジウム	発表
		質疑応答・ファシリテーターによる整理
		グループワーク・発表
		ファシリテーターによるまとめ
16:00	終了・アンケート	

【概要】

1, ファシリテーター森本氏よりシンポジウムの趣旨などを説明

2, シンポジストによる発表

活動の経緯や歴史、現在の活動、利用者たちの様子についてパワーポイントを使って20分づつ

- ・気まぐれ八百屋だんだん 近藤 博子氏
- ・横浜総合高校ようこそカフェ 尾崎 万里奈氏
- ・冒険遊び場の会 奥富 裕司氏

3, 質疑応答

Q: 夕暮れカフェの「予想とは違ったこと」とは？

A: 奥富: 夕暮れカフェとは不登校の子の居場所、外に行けない子の居場所かと思っていたが家にいられない

森本: 最後の拠り所ということでした。

Q: 財源について。具体的に行政はどのような協力体制なのか。

A: 武藤: 国分寺市プレイステーションは国分寺市子ども子育て支援課が100%。夕暮れカフェ、どーにつち、駄菓子屋は新しい委託金をもらっているが、100%とは言えない。ソーシャルワーカー、学校との協力はケース会議などを開いている。

Q: プレステで見られる子どもの裏の顔。どのように接しているのか知りたい。

A: 奥富: その子によって違う。スタッフによっても違う。僕の場合は痛かったら痛いと言う。痛いのは嫌いだから。でもなぜそうしているのか、背景は考える。翻訳機能が働いている。怒りはわからない。「どうしてそんなことするの?」と思う。イヤなことは辛抱強く伝える。

4, ファシリテーターによる整理とシンポジストへの再質問

「居場所に社会を呼び込む意味を考える」

① 多様が交わる教育力

- ・だんだんはごちゃまぜの教育力が特徴
- ・横浜は相談しやすい雰囲気がある
- ・冒険遊び場は来てまず知ってもらう、顔が見える関係づくりが主軸

② 多様なニーズから、点から線へ、線から面への支援ができる

- ・共通しているのは食がキーワードになっていること
- ・だんだんは第二の家庭の雰囲気がある
- ・横浜はポロっと相談できる
- ・冒険遊び場はいろんな価値観にふれる、人を介することによって間接的に支援できる

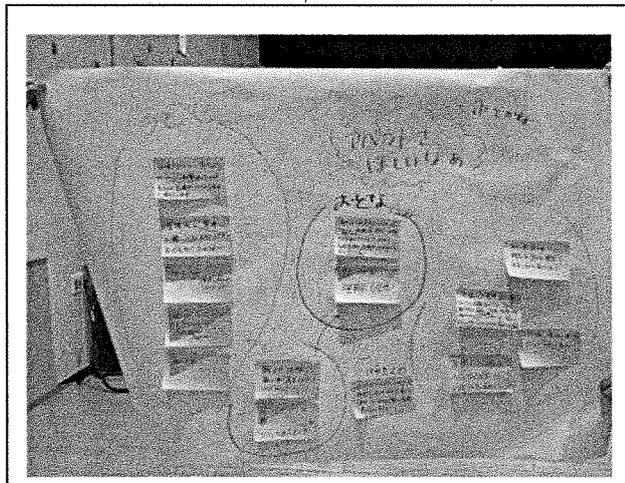
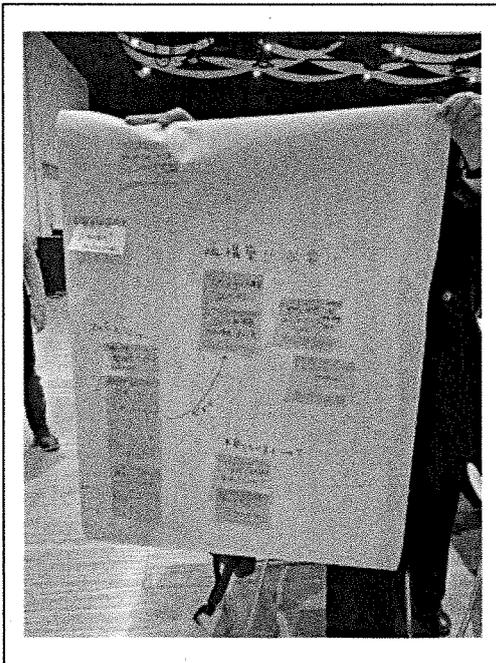
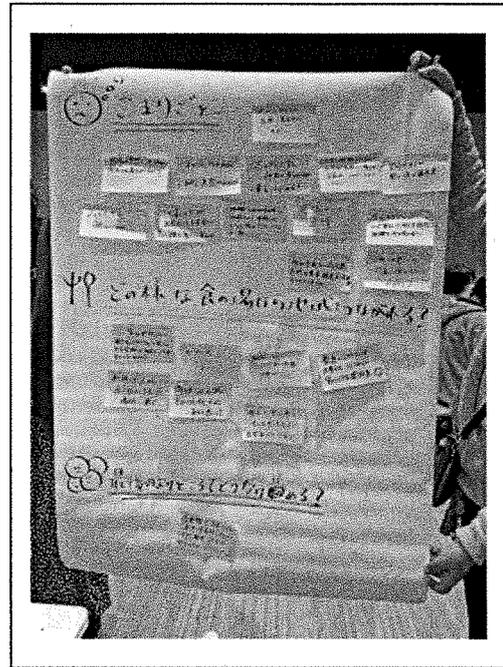
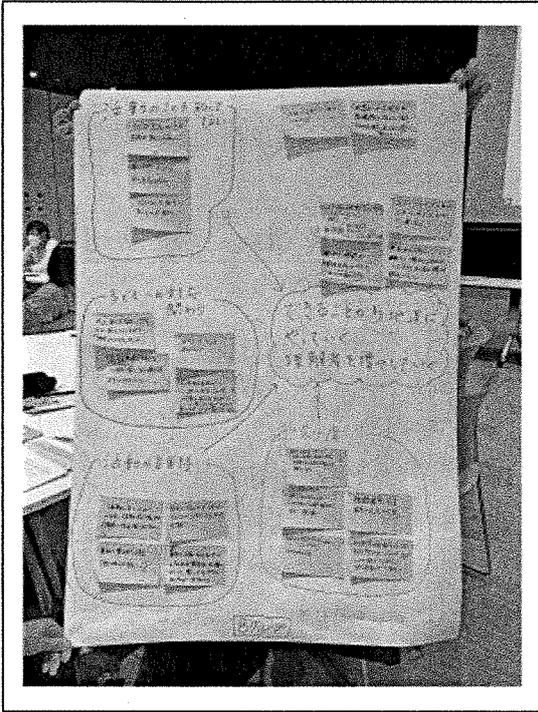
③ 子どもが自発的に変化

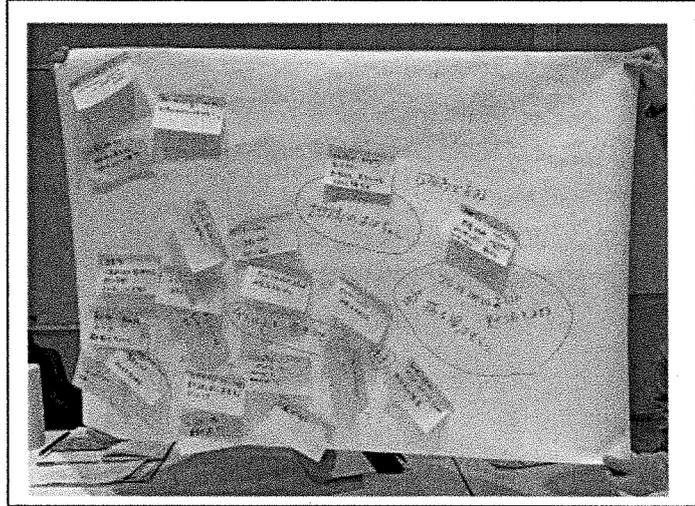
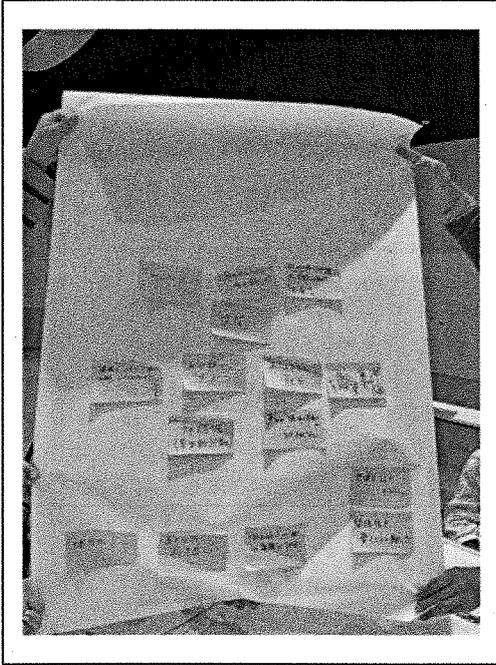
・縦がななめに変化、そして横に変化

5. グループワーク

内容 ①各自が関わっている活動の困りごと ②開かれた居場所を支えているしくみ（食をベースに乗り越える、行政と良好な関係）についてグループで話す

グループ発表





Aグループ

- ・困りごと ⇒ スタッフの情報共有、相互理解
こちらから活動発信する必要がある。活動を地域に開いたり、地域の人を招くことで会いたい人に会える。
- ・居場所の選択 ⇒ ニーズを知らないといけない
活動に関して学校教育が寄り添ってくれると、活動を開いていくことができる出来る
子どもとの関係づくりが重要だが、結局どうでもいい時間を大切にすべき
スタッフみんなが笑顔になれると余裕ができ、活動もうまく回る

Bグループ

- ・困りごと ⇒ もっと活動を知ってほしい、子どもと関われない、対応にとまどい
活動を維持するのが難しい（助成金、制度の問題）
みんな同じことで困っている
出来ることから地道にやっていくしかない。

Cグループ

- ・子どもの居場所だけでなく、大人も苦しい
社会、地域、学び、のすべてに関して 再構築が必要
- ・居場所から社会を再構築することができるのではないか
「地域」は今や幻想になっている。今はSNS でつながれる社会となっている。
- ・適応指導教室（トライルーム）は目指すところと違うのではないか。学びそのものも再構築が必要だと思う。
- ・アゴラ文化のようなことが必要 ⇒ どうでもいいことをしゃべり続けるギリシャの文化

Dグループ

- ・困りごと ⇒ 異年齢の関わり、
話して妥協点を見い出す ⇒ よく話すことが大事

- ・子どもから聞いた内緒の話を共有していいのか迷う ⇒ 子どもに許可を取る、共有していると言わない
スタッフの経験を地域に戻せたらいい
- ・スタッフが地域のおばちゃんの役割も果たすべき（勤務が終わってから話したり）

E グループ

- ・困りごと ⇒ 仲間が見つからない、思いを伝える場がない（資金調達） ⇒ 苦情につながる
自分たちが WELCOME の気持ちでいることが大事
多様な人を巻き込むイベントを開催したらよい
どう受け止める ⇒ 抱え込まない、情報共有、協力者増やす
イヤなことは相手に伝える、思いを伝えあうこと大事

F グループ

- ・困りごと ⇒ 子どもの対応、親の対応
放課後子ども教室では親の対応に心が折れた経験がある。
親へのノウハウ ⇒ 親を変えることは出来ないと考えた方がよい。
親への対応は今後の課題
- ・行政との関わり ⇒ 行政にアバウトさが欲しい

G グループ

- ・個人の困りごと ⇒ 体力、スキルの引き出し
- ・団体の困りごと ⇒ 資金
- ・男性と女性で子どもへの関わり方違うのではという意見も
- ・フリースクールのスタッフと子どもの関わりで、見学者が来た時（世間が入った時）、スタッフの対応が変わることが気になる→世間が入ると変わるのもありのままでいいのではと言われた

6, ファシリテーターによるまとめとシンポジストとのやりとり

森本：居場所を開いていく中で世間が入るとよそいきになる、ありのままでいられない、という話があった。

世間の力が強いからそうなると思うが、そこを越えるにはどうすればよいだろうか。だんだんではどのように考えているか

近藤：だんだんでは行政からお金をもらっていないので言いたいことが言える。ありのままでいられないことがない。児童養護施設で写真を撮っている友人は視察が入るといいとこ見せようとしていると言っていた。自分たちは「こんなに大変なんだ」と思ってもらった方がいい。

森本：利害関係ないから出来ることがある。行政との信頼関係をつくるにはどうしたらよいと思うか？

近藤：行政の若い方を呼んでぶっちゃけ飲み会を開いたり。行政にも心を病む人がある。どう協力すればやりやすいのかこっそり聞いている。行政へのメッセージ伝える機会をもつ。行政に文句ばかり言っていると（行政は）文句を言われなくなってしまふ。「応援している」というメッセージを伝える。

森本：行政も市民の本音を知りたいと思っている。近藤さんはそこをプロデュースしている。戦略的に行っているのかどうか？

近藤：上の立場の行政職員は本音を言ってくれない。下の担当職員など、伝えられる人には伝えている。行政の仕事はとても大変になっている。でもそれは地域の人にとっては大損。行政の人を支える必要があると思っている。

森本：でも自然体でやっているという印象がある。

近藤：下の人が偉くなったとき応援してもらえる。戦略はある。

森本：学校との関わりがもう一つのポイントとなっている。学校との信頼関係のつくり方について、ようこそカフェではどのような工夫をしているか。

尾崎：先生たちは基本的に真面目で責任感がある。むしろ問題を自分だけで抱え込んでいる。校長に相談できても今度は学校で問題を抱え込む。先生から私たちに相談してもらえる関係性、先生たちと飲みに行くまでの関係性をつくらないといけないと思っている。本音を言える関係、自分たちも本音が言える関係でないとうまく進められない。

森本：ありのままにられる関係を時間をかけて築くことが大切だということですね。

尾崎：その仕事から外れた時間をつくる。お昼を一緒になど。その人と話す時間をつくる。どうでもいい話をつくる時間をつくるのが大事だと考えている。

森本：食を通じてサードプレイスをつくる。何気ないちょっとした時間、目的のない時間をつくることが大事にされている。

森本：ぶつかり合いながら手がかりをつくる、近隣との関係について、冒険遊び場の会ではどういう工夫があるか。

奥富：相互理解が難しい。対話が圧倒的に不足している。大人自身が時間に縛られているが、遊びの世界では子どもがプログラムに縛られることはない。片付けしないで次の遊びにいってしまう。それが遊び。その点プログラムに乗っかる「教育」は自由度がきかない⇒教育も再構築が必要だと考える。子どもは自由を求めている。

ぶっちゃけ飲み会をつくった方がいい。必要になっている。

森本：昔は無意識にあった、縁側、井戸端、床屋でのおしゃべりなどを、今は意図的につくらないといけない時代。そういったねじれがあることを了解済みで皆さんは活動がんばっている。

そういった各地の活動が、小さな違いでまとまらないでいると社会的パワーになりにくい。横浜で同じ志の団体が集まったのはたまたまではなく、こだわらずに大きなところでまとまっていく方向性があったから。

アゴラの話が出てきたが、敢えて壁をつくって集まりやすいエリアをつくる、路地中心の街づくりのこと。車が通れないようにして、人が集まったり話したりできるしくみを街の中心につくっていた。人のコミュニティを意識的につくっていた。

皆さんはゲリラ戦で居場所をつくっている。自分の現場でより活動を積み重ねてほしい。

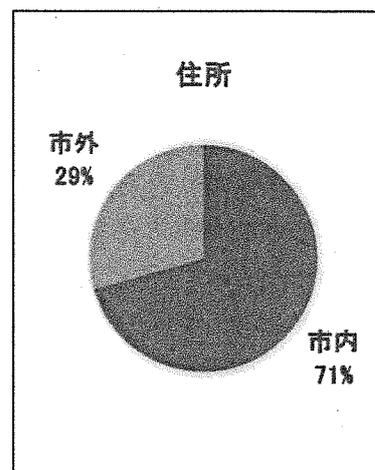
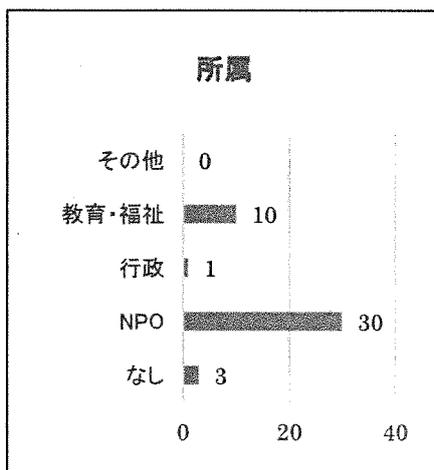
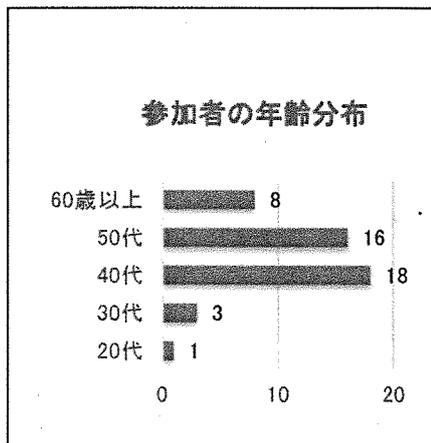
角：今日出会えた人とは、協力してつながって情報交換できるように。私たちはゲリラ戦をしているんだという自覚、覚悟ができた。安心してゲリラ戦をいたしましょう。

【シンポジウム参加者アンケートの結果】

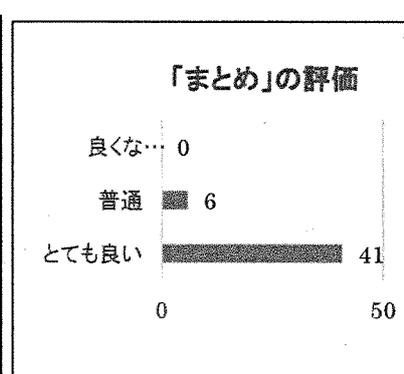
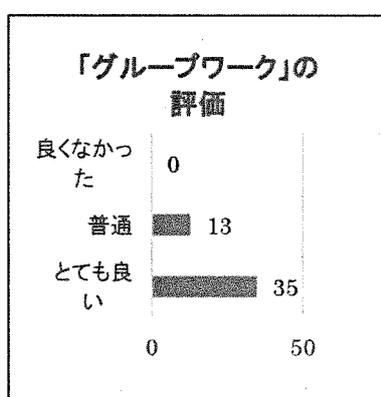
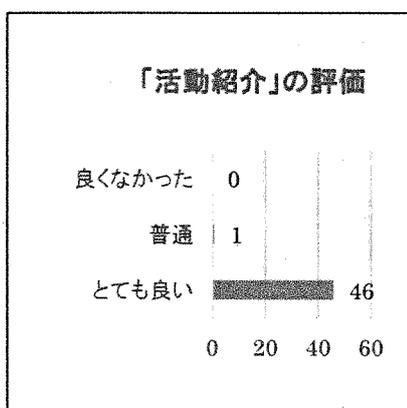
参加者数 65 名 (シンポジスト、ファシリテーター、担当係長、事業担当者除く)

回答者数 49 名

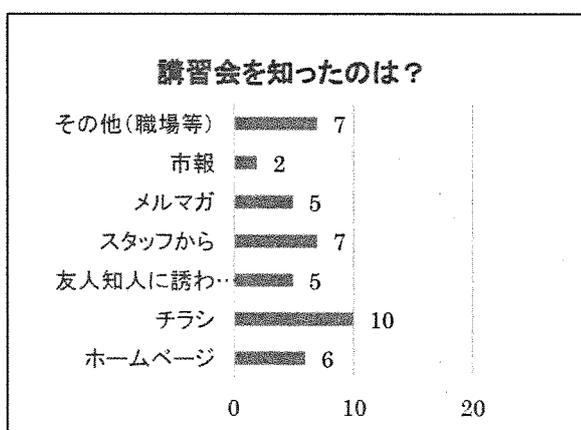
1. 参加者の属性



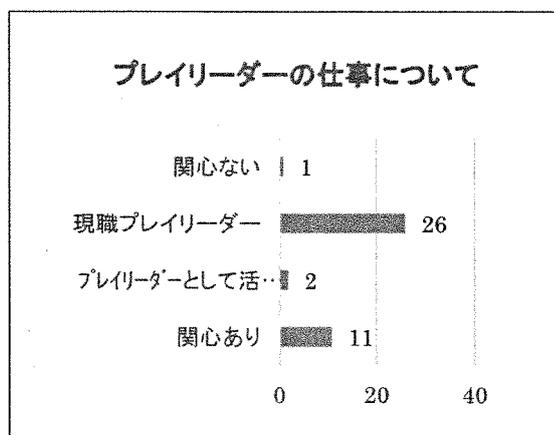
2. 内容の評価



3. 講習会を知った手立て



4. プレイリーダーへの関心は



5. どんなところが良かったですか？

・色々な活動をされている方々の話が聞けて良かった。いろいろな所属の人と話せてよかった・だんだん、高校内カフェ、プレステの活動紹介をきけて良かった (9)

- ・グループワークで話ができたと。グループの方と話せて楽しかったです。やっぱり実際に会って話す…大切ですね。活動紹介だけでなく、グループワークがあつてよかったです。(7)
- ・各団体の活動内容を知れたこと (3)
- ・いろいろな意見が聞けた。異なる立場の人の話を聞くことができた。(2)
- ・シンポジストの活動の紹介がわかりやすかった。
- ・近藤さんの話がすごく面白かった
- ・特に子ども食堂のお話は活動を始めたきっかけや活動するにあつての信念などとても感動した
- ・モチベーションが下がっていたところ、近藤さんの言葉にやる気をいただいた。
- ・ようこそカフェのとりにくみやすさばらしいと思った。全ての高校、中学にあるといいなと思った。
- ・高校カフェの存在は初めて知りました。
- ・今までの自分では知らない活動の話がきけた。シンポジストの話をきくだけでなくファシリテーターの方をはさんで話が進められ、すごくほり下げて話をきくことができた。
- ・子どもを見守る活動の中で、色々な悩みをみんな抱えていること、悩みの内容など貴重な話を聞けた。地域とのつながり、大人の関わりが子どもを見守っていく中で大切だと再認識できた。
- ・それぞれの取り組みを聞いて自分の活動に取り入れられるところが多々あつた
- ・地域をまき込む、学校をまき込むという視点は普段なかなか持てないので興味深かつた。
- ・居場所にどう関わるかを考えさせられた
- ・多様な居場所の存在価値を知ることができ、また、業務内容的にととても参考になることがたくさんあり、勉強になった。自身の生活を見つめ直す機会となり、ありがたかつた。
- ・プレイステーションのような地域に根付いた現場だけでなく、学校のような児童に近い場所に安心できる環境があることが知れた。
- ・学校や行政との関係性の大切さを知れたこと。
- ・食でつながり、地域の人々となつなげると心地良さがうまれること。
- ・本心から子どものために活動されている方々とお話できてとても良かつた。(日々のテーマについて、周りの方よりよい助言を頂けた)仕事として、子どもと関わることの重みを感じた。
- ・人をまきこんでの活動をされていて、人とのつながりが大切なんだとあらためて思った。
- ・みんなで困っていることを出し合つてシェアできたところ・自分の困り事、悩んでいる事が他の方も一緒であつた事がわかり、頑張ろうと思つた・困っていることを確認できた。(3)
- ・日常の活動の中で、もやもやと考へていた事となつながつて、考へるキッカケになつた。
- ・「ありのままに」「世間」という言葉に、一人でかかえこまずに、ありのままにいてもいいんだと感じました
- ・自分一人で考へず、いつでも周りに手をのばせるようにチームで(みんな)続けていけるように自分もひらくことが大切だと思つた
- ・各自の「思い」だけではいけないことを知れたこと。
- ・活動のありのままの姿や、悩みが、肌で感じられた所。
- ・シンポジストの話をきくだけでなくファシリテーターの方をはさんで話が進められ、すごくほり下げて話をきくことができた。
- ・各活動の内容がわかりやすかつた。森本さんのファシリテーターが入るとより理解が深まつた。もつと皆さんの話も聞いてみたい位だつた。

- ・ファシリテーターの方、すばらしかった。ポイント拾ってくださって、みなさんの経験に基づく話しを再度聞かせてもらった。
- ・森本さんの整理がすごい！！
- ・短時間でまとめることで、わかりやすい説明だった。
- ・限られた時間の中で、様々な工夫をしていただき、ありがとうございました。
- ・時間が充分にあった。
- ・カオスでまとまりのないグループワークだったが、自由に話せて良かった。
- ・質疑応答があったので、気になる所は補足された
- ・われらがプレステに対する質問が多かった→いろんな角度の人たちに興味持ってもらえている
- ・講演会に参加した理由は、冬休みに入り子どもたち(中学生)から 2 週間以上離れた生活が続いており、子どもについていろんな立場の方々と語り合いたいと思い、参加した。本当に参加してよかった。プレステさんの活動をより深く知ることができたこと、大きな成果。
- ・グループ内での話し合いで、学校との連携を求められていることを感じたので、少しずつ私なりの働きかけで広めて行きたい。また、普段から大切にしている“ただのおしゃべり”は“意味のある〇〇である”というのをどの立場の方も大切にされており、心強かった。相手を理解しようとするならば、相手に私自身にも興味を持ってもらう。関係づくり…必須。そのために格好つけない、弱点も見せる。私自身もありのままに接していく姿勢を大切にしたい。
- ・同じグループに市の方がいらしたのも、ラッキーだった。いいお話だった。
- ・地域、学校、遊び場の事例、取り組みが聞けて、又、スタッフとして関わっている方々、市の方と話が出来た事。
- ・最後の言葉で市の職員の「本音」が聞けてうれしかった。

6. もっとこうした方が良い、など課題があれば教えてください

- ・グループワークにもう少し時間をかけてもらえると内容のある話し合いができると思う
- ・せっかくの機会だったので、もっと話を深めたかった。話す内容をもう少し絞ってほしかった(13)
- ・時間がたりない…もりだくさんでした。もう少し時間があるといいのかもしれない(2)
- ・内容は良かったが詰め込みすぎの感がある。中途はんぱになったかも。
- ・活動紹介良かったが、駆け足でもったいなかった。
- ・グループに冒険遊び場の会のスタッフの方の比率が高かったようですが、しかたないのかな
- ・事業所のみで実施するには限界があると思うので、相互の協力や、土台作りが必要であると感じた。
- ・学校の先生やスクールカウンセラー、地域の方(民生委員など)も招待してみてもどうでしょうか。
- ・アカデミズム方向に話を持っていかれると、こちらはケーススタディされてんのかなー、とややシラケます。現場なので…
- ・まとめなくてよい ・個人が自由にまとめれば、それでよい
- ・また勉強する機会を頂きたいと思った。色々な方と交流する機会としてもぜひ、回を増して頂けると助かる。
- ・「食」を接着剤とするなら、それをフェアトレードやオーガニックにしていくと、子どもたちが自分のたべるものがどこから来ているかだれがどんな風にして作り、運ばれてくるか、考えるきっかけになりますよ。また自分たちで畑作業をしたり、生命を感謝して頂くようになると思います。
- ・平日にやってほしい。
- ・ディスカッションのテーマを、もう少し話しやすい、まとめ易いものにして欲しい。

- ・青空ひろば等、曜日を替えたら、新しい発見あるかも？
- ・だんだんの人気のある献立を紹介してほしい
- ・ちょっとあつかった！

7. 子どもの遊びや居場所について今後どのような講習会を開催してほしいですか

- ・今回のような話をまた聞きたい。また、いろいろな遊び場や居場所の実践をききたい。2
- ・新しい取り組み、アイデア等があれば情報交換する機会があれば良いと思う
- ・これからいろいろな子どもと大人と関わっている人の話を聞きたい。
- ・親子ひろばにフォーカスをあてた講習会があってもいいのでは？
- ・居場所を求めている子どもたちへの対応の仕方
- ・行政の人が参加してくれる会ができれば、いいな。
- ・具体策が確実に実施できる様な講演会があると良いと思いますが、1度や2度では無理だと思うので、定期的におこなえるネットワークが確立すると良いと思う。
- ・フリースクール、子ども食堂の方の話(講習会)
- ・地域の方とつながるためには(地域みんなで見まもるためには)どうしたら良いのか
- ・地域の人と話したい
- ・居場所づくりの中でつくったその居場所を維持しつつ発展させる努力
- ・自分の班には先生がいなかったのですが、学校の先生のぶっちゃけ話もききたかった。
- ・遊び場に来ている様な発達障がいの子の講習をしてほしい
- ・普通級のクラスにいる、生きづらさのある子の勉強をしたい
- ・子どもの遊びだけではないと考えているので幅広くやってほしいです
- ・具体的な子どもの困りごと事例を出して知る機会。
- ・成功している居場所づくりの話聞きたい
- ・今回の内容をもう少し踏み込んで具体的例をじっくりディスカッションしたい。
- ・危機管理。(ふつうのお母さん(ボランティア)が気をつけられる程度)
- ・子どもの発達(0~3才、3~6才、6~12才、12~15才——)といった段階によって、どう子が変化していくのか、その特徴やニーズを知る勉強会。
- ・ボールを使った講習会があれば良いと思う。投げ方、捕り方、事故のおこり方、を学ぶ良い機会になると思う。
- ・他の団体とつながれる場(どうでもいい時間)、を増やしてほしい。
- ・初めての子、新しい子が、居場所に入りやすいふんいきや“しかけ”づくりについて。
- ・講習会？井戸端、お茶会
- ・ぶっちゃけ話(本音)をもっと聞きたい。(カフェ形式で、定期的に)・大きい子達(高校生)対応について
- ・子どもの自発性やノリ、暴走するタイミングと“管理”のレベルの妥当性について。
- ・利用者の関わり方をどうしているのか、どんな遊びがあるのか、とりいれてもらえたら。

8. その他感想など

- ・グループワーク特に他のグループの着眼点が参考になった
- ・実際に活動している方々から、現場での声が聞けて勉強になった。

・いろいろな人とおしゃべりの大切さを感じた。

・長いと当初は思っていたのですが、時間は足りない。雑談が減っている中、活動している大人同士話が止まらないです。

・とても刺激のある講習会に参加させて頂き、ありがとうございました。今後も継続して頂けたら嬉しいです。この講習会により、何か1つでも変化できる様に今後の課題としていきたいと思えます。

学年 (年齢)	小学1年2年	3年 4年	5年 6年	中学生	高校生	その他	無回答	無効 (大人の回答)
	29	31	19	5	3	0	0	8
性別	男 56	女 38	無回答 1					
住所	国分寺市 77	小平市 9	小金井市 2	立川市 0	国立市 1	その他 西東京市 (2) 青梅市 (1) 東村山市 (1) 府中市 (1)		
はじめて来たの?	はい 35	いいえ 59	無回答 1					
楽しかったですか?	はい 90	いいえ 4	無回答 1					
何が楽しかったですか?	シャボン玉 スライム作り 19	穴掘り 泥遊び 水遊び 14	こま ペーこま 6	ひみつ基地 づくり 16	火の体験 16	おしゃべり 11	室内あそび 14	鬼ごっこ 22
	工作 (弓矢を巻く) 21	山で遊ぶ 12	生き物 さがし 7	すべり台 31	その他 だがしや (2) ボー (2)	仕事体験 (2)	釘ナイフ (4)	スケ ボー (2)
プレイステーションではどんな遊 びがしたいですか?	基地作り 18	木工作 (弓矢を巻く) 13	穴掘り 12	泥遊び 3	手芸 (毛糸や布や革など) 10	陶芸 3		
	水遊び 15	釘ナイフ 12	くぎさし 7	どろだんご作り 7	こま ペーゴマ 5	火おこし 14	ごはん作り おやつ作り 14	
	ブランコ 21	すべり台 15	ボルダリング 12	スケート ボード 8	迷路 17	虫取り 5	まんが 10	
	本 9	ボード ゲーム 12	トランプ 7	カード ゲーム 11	おしゃべり 10	卓球 15	工作 16	
	その他 スケボー、ゆびすけ							
大人のスタッフ (プレイリー ダー) はどんな感じてましたか?	よい 91	悪い感じ 2	無回答 2					
また来たいですか?	はい 88	いいえ 2	無回答 5					
なにかいやなことが ありましたか	なし							
だがしやを利用したことは ありますか	はい 80	いいえ 13	無回答 2					
だがしやをまた利用したい ですか	はい 79	いいえ 9	無回答 7					
お仕事体験はしてみましたか	はい 53	いいえ 39	無回答 3					
お仕事体験は 楽しかったですか	はい 48	いいえ 23	無回答 24					
お仕事体験をまたして みたいですか	はい 48	いいえ 25	無回答 22					
カフェドーにちちを利用したこ とがありますか	ある 19	ない 72	無回答 4					
どーにちちでなにを 買いましたか	コーヒー 0	スパイスティー 0	ハーブティー 1	サワードリンク 1	スカッシュ フroot 2	そのた りんごジュース (1)		
買ったものをぜんぶえらんでね	ともしび クッキー 10	コメコビス 1	パウンドケーキ 6	チーズケーキ リンゴケーキ 6	たいやき 0	ワッフル パン 1	そのた ツナパン (1)	
どーにちちでなぜ買わなかった? ほしいものがあたら書いてね	ステーキ、ピザ、マスカットケーキとマスカットジュース まんじゅう ワッフル、パン、リンゴケーキ							
言いたいことがあれば書いてください 別紙								

言いたいことがあれば書いてください

・いつもありがとうございます。

・また来ます

・楽しいのでもっと遊びたい

【ほしいもの】

・トランポリン(2)、鉄棒 木登りができる木(2)、ハンモック、10×10の
プール、ちょうでかいボール、1円、5円で買えるお菓子、ハイジみたいな大きなプラ
ンコ、ポーリング

・室内もあってだがしやもあってとても利用しやすい。これからも何回も遊びにきた
い。

・9時に開けてほしい。

・こまに火をつけてまわしたい。

・プレステ最高!

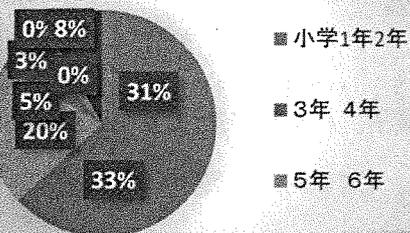
・楽しいです(2)

・柿おいしかった

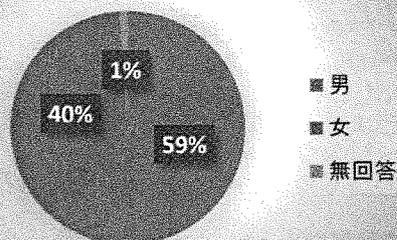
・カフェを続けてください

・プレステ世界一

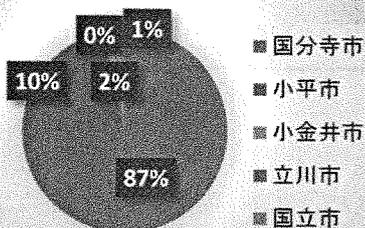
学年



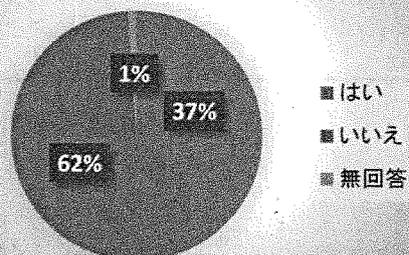
性別



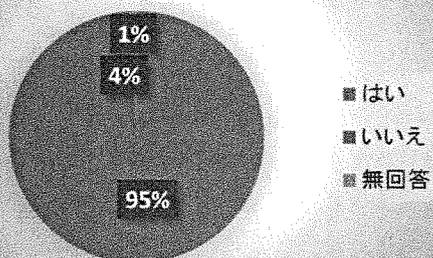
住所



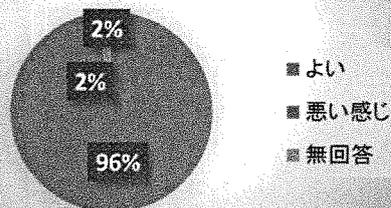
初めてきたの？



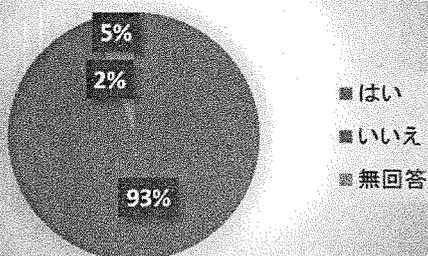
楽しかったですか



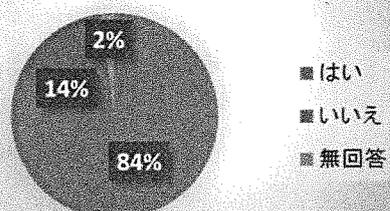
大人のスタッフは どんな感じですか



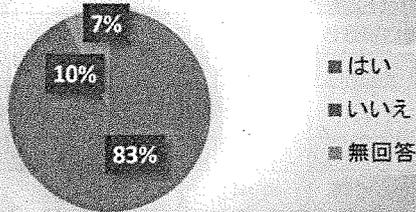
また来たいですか



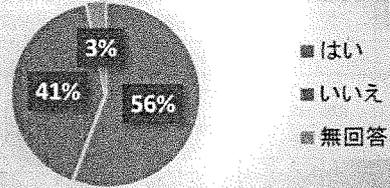
だがしやを利用 したことがありますか



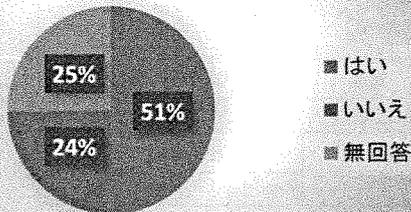
だがしやをまた利用
したいですか



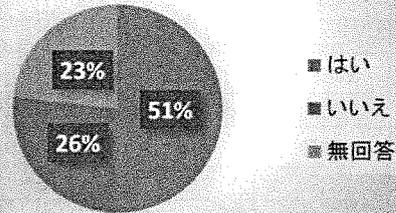
お仕事体験
しましたか



お仕事体験は
楽しかったですか



お仕事体験を
またしたいですか



どーにっちを利用した
ことがありますか

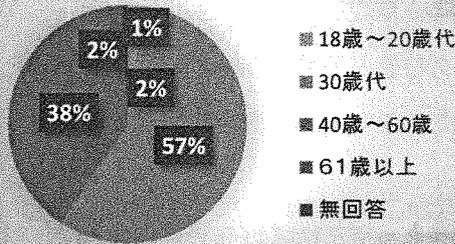


年齢	18歳～20歳代	30歳代	40歳～60歳	61歳以上	無回答			
	2	58	38	2	1			
性別	男	女	無回答					
	28	72	1					
住所	国分寺市	小平市	小金井市	立川市	国立市	その他(11) 大阪(1) 練馬(1) 東村山(5) 杉並(1) 府中(1) 西東京(1) 無回答(1)		
	69	12	3	4	2			
利用頻度	初めて	年数回程度	月1回程度	週1回程度	週に何回も			
	22	19	33	21	7			
来るきっかけ	友だちに誘われた	ホームページ ブログ	口コミ	市報 パンフレット	チラシ	他の遊び場 で紹介	その他 ()	無回答
	27	19	11	16	1	16	12	3
お子さんの年齢	幼稚園前	幼稚園	小学1, 2年	3, 4年	5, 6年	中学生	高校生	
	33	55	31	8	0	0	0	
楽しかったですか	はい	いいえ	無回答					
	100	0	1					
どのような遊びが良かったか(子どもの遊び)	シャボン玉 スライム作り	穴掘り 泥遊び 水遊び	こま ベーこま	ひみつ基地 づくり	火の体験	おしゃべり	室内あそび	
	45	60	28	14	24	18	42	
	工作 (弓矢をきむ)	スケート ボード	生き物 さがし	滑り台	その他 絵具(2) 楽器(1) だかし(1) プラ ンコ(2) 自由に遊べること(1)			
	28	3	13	58				
プレイステーションではどんな遊びがしたいですか?	基地作り	木工作	どろ遊び	火起こし	遊具	水遊び	昔遊び	
	26	43	50	45	38	50	35	
あったらいいなと思うものはありますか	陶芸	料理	手芸	室内遊び	まんが	絵本	ボードゲーム	
	32	32	21	20	6	14	11	
	スケート ボード	その他 ミニ四駆(1) ホッピング(1) お絵かき(1) 遊びは充分ある(1)						
	13							
大人のスタッフ(レリガ-)の対応は良かったですか	良い	良くない	無回答					
	99	0	2					
だかしやを利用したことはありますか	はい	いいえ	無回答					
	71	27	4					
だかしやをまた利用したいですか	はい	いいえ	無回答					
	77	4	20					
だかしやのお仕事体験に興味はありますか	はい	いいえ	無回答					
	80	14	5					
カフェドーナツを利用したことがありますか	はい	いいえ	無回答					
	43	51	7					
ドーナツの利用のきっかけ	友だちに聞いた	ホームページ	インスタグラム	市報	チラシ	その他(16) 来場して(4) スタッフから聞いた(3) おいしそうだった(1) 他(8)		無回答
	9	9	5	1	3			20
ドーナツを誰と利用しましたか	夫婦	友だち	ひとりで	その他(13) 子どもと(10) 他(3)				
	16	7	10					
ドーナツでは何を購入しましたか	コーヒー	スパイスティー	ハーブティー	メイヤー レモン	サワードリンク	スカッシュ フロート	その他 ()	
	25	7	6	4	4	2		
	ともしび クッキー	コメコビス	パウンド ケーキ	チーズケーキ リンゴケーキ	たいやき	ワッフル パン	その他 ()	
	20	8	26	5	1	3		
ドーナツを利用しなかった理由	土日に来ない(4) 食事を持参した(2) ごはんがあったらいい(1) 昼ごはん前だった(1) 時間がなかった(1) 機会があれば利用したい(2) 子どもが帰りがた(1) 特に理由なし(2)							
ご意見・感想・提案などあれば記入してください(別紙)								

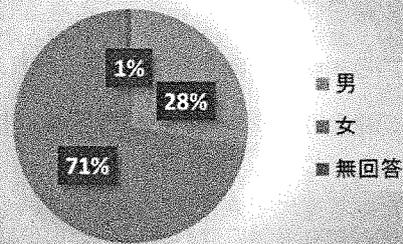
ご意見・感想・提案など

- ・とても楽しくて親子で大満足。
- ・いつもありがとうございます。(3)
- ・のびのび自由に遊ばせることができ幸せです。(2)
- ・外遊びを目いっぱい楽しめる場があって親として嬉しく思う。
- ・いつも楽しく利用しています。(4)
- ・家ではできない遊びを思いっきりできる貴重な場所。(3)
- ・スタッフが子どもを子ども扱いせず対等に接してくれ、子どもたちにとって特別な場所になっている。
- ・3回目の利用だが、よく話かけてもらえて楽しい。これからも利用したい。
- ・上の子は幼稚園が休みの土曜日にプレステで遊ぶことを楽しみにしている。だがしやも大好き。
- ・どんどん進化するプレステ。本当にすごいと思う。ごはんも食べられ、ごほうびでカフェやだかしを買える。汚れた体を洗うシャワーもあり本当に便利でありがたい。プレステでのびのび遊ぶ子どもの姿を見てこういう遊び場を提供してもらえて感謝。
- ・小学生の遊びを見ていた幼稚園児に「バカ」という子がいてびっくりした。小学生にどう対応すればよかったのかわからずモヤモヤした。
- ・楽しかった。また来たいです。
- ・最近夫が土曜日に息子たちを連れて来る。2人目が生まれてからなかなかこれなかったが、今日久々に来たらやっぱり楽しい。大人も子どもも笑顔になれる場所でした。お昼ごはんをもってこれば1日いられるが魅力的。スタッフが本当に優しく困っているとき子どもがぐずったときなどすぐ声かけしてくれて本当に本当にありがとうございます。遊びもすごく楽しい。子どもたちがいきいきしています。
- ・いつも本当にありがとうございます。娘はプレイリーダーが大好き。たまに挨拶してくれないプレイリーダーがいて少し切なくなります。
- ・青空ひろばのプレイリーダーとの関わりがすきで来るようになった。幼児が好みに遊べて安全なところは多くない。
- ・普段できない遊びができるのが良い
- ・お菓子のゴミがところどころ落ちているのが気になる。
- ・近所にプレステがあってありがたい。どこどこもあるので休みたいとき遊びに行けるのがいい。
- ・見守りがあっていいと思う。
- ・通常の公園ではできない遊びができて子どもたちも楽しんでいる。
- ・コロナがおさまって昔やっていた炊き出しのようなことも再開されるようならぜひ参加したい。
- ・貴重な体験の場の提供をありがとうございます。
- ・子どもの居場所を作ってもらえてとてもありがたい。
- ・外でも中でも思いっきり遊べるのでありがたい。
- ・親だとハードルが高い工作などに挑戦できてよかった。
- ・通路やけやきが増えてよかった。
- ・滑り台はいつもやっています。
- ・デッキは最高。
- ・今後もぜひ続けてほしい。
- ・家におもちゃがあり楽しそう。
- ・ハンモックがあればいい。
- ・子どもがいきいきしていて嬉しかった。
- ・幼稚園が近くてよく利用する。外でどろんこになって、内ではおもちゃなどその時の状態によって利用している。息子はいろんなおもちゃで遊ぶことが楽しいようです。親としては火起こしや料理など家庭ではハードルが高い内容をスタッフと一緒に楽しめたらと思っている。いつもありがとうございます。
- ・スタッフ、ボランティアの人力で場が作られていて感謝です。
- ・自分たちで考えて遊びを作っていくのはおとなにもよい刺激となった。
- ・自然の中から自分たちで遊びを見つける姿は親として感心する。小学生になり一人で来ることもある。今後ともよろしく願います。
- ・子どもたちが気に入っている。このような場所があつてたいへんありがたい。
- ・こどもはどろ遊びがとても楽しいようです。
- ・5、2、1歳の子どもみんなが安心して楽しく遊べます。デッキができてお昼ごはんも食べられるようになったので朝から夕方までいることもある。スタッフが子どもたちを気にしてくれるので3人連れてきても安心なところがとてもありがたい。
- ・幼稚園のある日はほぼ利用している。天気に関係なく遊べるので助かる。室内、外どこでも楽しめる。
- ・滑り台、ブランコ、どろ遊びに助かっている。
- ・孫と一緒に遊べて楽しかった。
- ・子どもたちにとってはとても楽しい場所、大事なところだと思います。
- ・子どもたちが目移りするほどいろいろな興味のある遊びがたくさんあってありがたい。
- ・トンネルが欲しい。
- ・真ん中に大きな登れる木を植えてほしい。
- ・基地に使える木材を用意してほしい。
- ・外のトイレがあればいい。
- ・トイレが足りない。男児用(立ってできる)トイレがあればいい。(2)
- ・生き物が好きなので動植物に触れたり匂いをかいだり食べたりできればいいと思う。
- ・募金箱が常設であつてもよいと思います。
- ・夏は日陰が少なそう。
- ・子どもと一緒に工作や料理体験ができればいいなと思います。
- ・利用者どうしの交流が自然に生まれるといいと思います。
- ・お仕事体験を1歳児と一緒に親子でやりたい。
- ・だがしやを毎回利用している。こどもたちがプレステに行きたがる理由のひとつがだがしやです。お仕事体験もできるので子どもたちは楽しそうにしています。
- ・どーにっちはとてもおいしいので大好き。休憩しながら子どもと一緒におやつを食べられてとても嬉しい。
- ・木陰があるとうれしい。

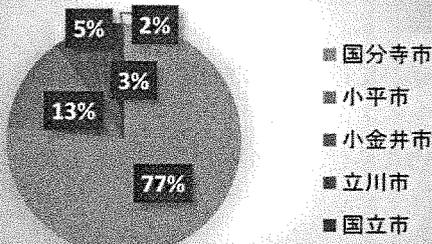
年齢



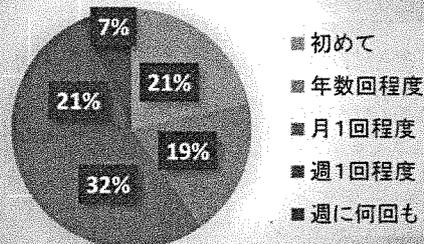
性別



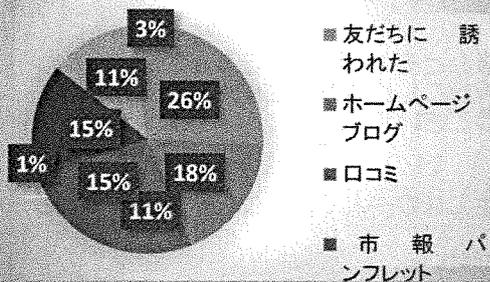
住所



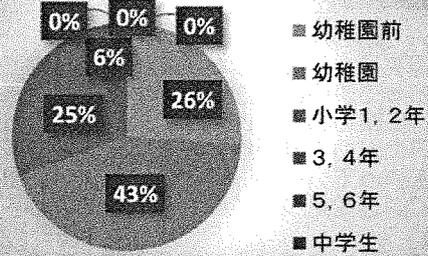
利用頻度



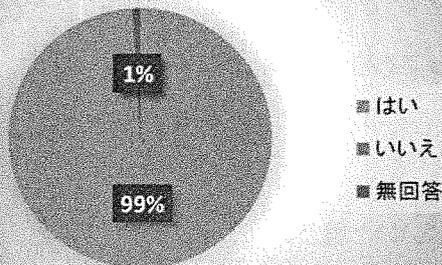
来るきっかけ



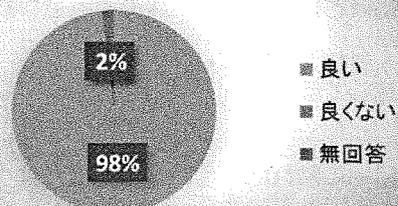
お子さんの年齢



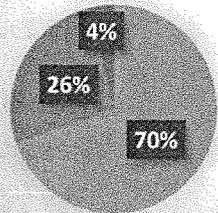
楽しかったですか



プレイリーダーの対応はよかったですか

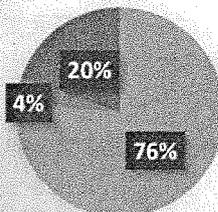


だかしやを利用したことは
ありますか



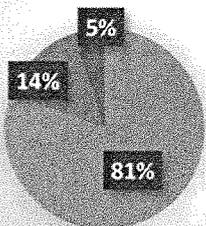
- はい
- いいえ
- 無回答

だかしやをまた
利用したいですか



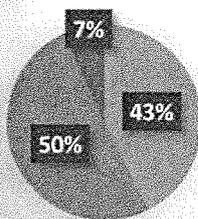
- はい
- いいえ
- 無回答

だかしやのお仕事体験に
興味はありますか



- はい
- いいえ
- 無回答

どーにつちを利用したこ
とはありますか



- はい
- いいえ
- 無回答

【プレイステーション アンケートに対する答え(場内掲示)】

- ・小学生の遊びを見ていた幼稚園児に「バカ」という子がいてびっくりした。小学生にどう対応すればよかったのかわからずモヤモヤした。
→それは、大変驚かれたと思います。本当に様々な子どもが来ているので、今後もまた、戸惑われることがあるかもしれません。その際は是非、一人で抱え込まずにプレイリーダーにお話してください。また、そのお気持ちを率直に子どもに伝えていただくのも、良いかと思います。万一のトラブルに備えてプレイリーダーが見守っております。
- ・いつも本当にありがとうございます。娘はプレイリーダーが大好き。たまに挨拶してくれないPLがいて少し切なくなります。
→ご不快な思いをされたと思います。私たちから気付かずに、申し訳ありませんでした。こちらでお伝えいただいたことは幸いでした。スタッフ一同気をつけて参りたいと思います。
- ・お菓子のゴミがところどころ落ちているのが気になる。
→みんなのプレステをみんなで大切にしたいと思っています。私たち自身がお手本を示しながら、子どもたちには辛抱強く真心を伝えてゆきたいと考えています。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。
- ・コロナがおさまって昔やっていた炊き出しのようなことも再開されるようならぜひ参加したい。
→懐かしいですね。コロナ前はよく大鍋でカレーなど作っていました。やり方は変わるかもしれませんが、少しずつチャレンジしていきたいと思います。市役所と相談していきます。
- ・ハンモックがあればいい。
→じゅうぶんな樹木はありませんが、今ある木材と養生ネットとかでつくれるかも？なにかアイデアがありましたら、ぜひ直接お声がけください！
- ・トンネルが欲しい。
→トンネル欲しいですね。築山での横穴自体危険です。やはり土管(ヒューム管)のトンネルが良いでしょうか。購入となると高額すぎるようなので、何か良いアイデアはありませんか？
- ・真ん中に大きな登れる木を植えてほしい。
→真ん中付近にケヤキの木が植わってます。大きくなるのを楽しみにしていますが、とても待ちきれません。何か良い手はないでしょうか？頭を悩ませています。
- ・基地に使える木材を用意してほしい。
→木材は、まちの建築現場を尋ねては端材をいただいています。家屋を建て始めた現場をご存知でしたら、教えていただきたいです。
- ・外のトイレがあればいい。
・トイレが足りない。男児用(立ってできる)トイレがあればいい。(2)
→外にトイレはあります。男児用トイレは建物内にあります。
- ・募金箱が常設であつてもよいと思います。
→だがしやに置きました。
- ・夏は日陰が少なそう。
→実は大型のテントが5個もあります！大変重いので、皆様にも設置のご協力をいただくことになりませんが・・・困った時はぜひご相談ください。

・お仕事体験を1歳児と一緒に親子でやりたい。

→どんでおみせやさんごっこ遊びをしましょう。そしてお子さんが大きくなったらぜひ一緒にやりましょう。

令和4年度親子ひろばアンケート結果

令和4年度園分等市親子ひろば事業アンケート 実施期間 令和4年9月1日(木)～30日(金)

今後よりよい事業運営のため、アンケートにご協力ください

※利用のひろばについて、下記の項目のうち当てはまるものに○を、その結果を選択された場合は、()内に内容を記入してください

1	利用目的は(なにかでも)	他の利用者との交流	スタッフと話をしたい	子どもを遊ばせたい	子どもの様子について相談	自分の悩み相談	とやみずきなどについて	その他()					
2	利用のきっかけ	友達に誘われて	インターネット	市報・チラシ・パンフレット	他の親子ひろばからの紹介	助産師からの紹介	子どもの健康での紹介	その他()					
3	今年入会前に相談したことがある	なし	ある	相談した後の気持ち(満足度)を教えてください	もやもや	1	2	3	4	5	満足		
4	今年他の利用者へ相談したことがある	なし	ある	相談した相手の気持ち(満足度)を教えてください	もやもや	1	2	3	4	5	満足		
5	ひろばに対して、どのくらい満足していますか、5段階で教えてください(0は最低)						不満	1	2	3	4	5	満足

ここからは、家庭利用の親子まん(妊娠中のママ、出産の赤ちゃん)と関係について、回答します。

6	親子まんの希望する人数は(以上)は	0か月未満	1歳未満	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児以上
7	親子まんから得た情報を受けて(2回以上)は	なし	あり	満足	プレママ	プレパパ	保育園(預かり保育)	その他
8	保育園内の親子まんの数を教えてください	A	B	保育園の親子まんの数は、満足していますか(3段階)を	はい	いいえ		

ここからは、園分等市内の親子ひろばについて、回答します。当てはまるものに○をつけてください

9	市内親子ひろばの希望する人数を教えてください(0は最低)	2名以上	3名以上	4名以上	5名以上	6名以上	7名以上	8名以上	9名以上	10名以上
---	------------------------------	------	------	------	------	------	------	------	------	-------

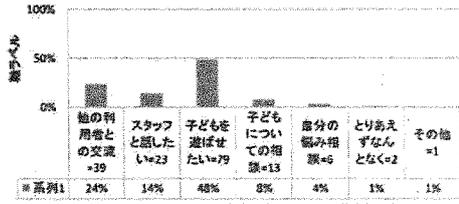
BOUKENどんどこ親子!

回答数
80

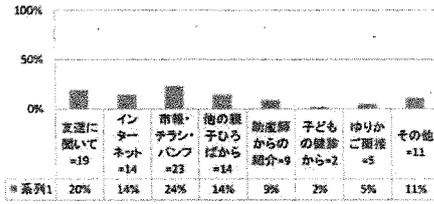
お子さんの人数(平均)
1.56

妊婦している
3

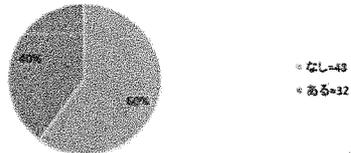
1 利用目的



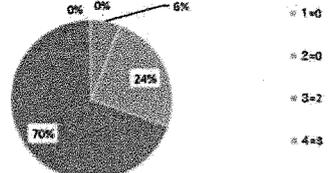
2 利用のきっかけ



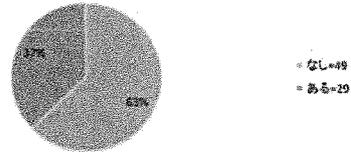
3-1 スタッフへの相談経験



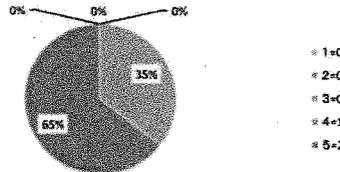
3-2 スタッフへ相談した後の気持ち



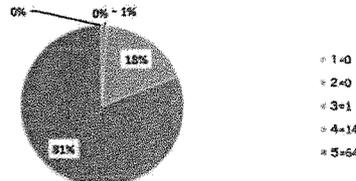
4-1 他の利用者への相談経験



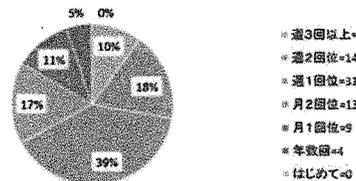
4-2 他の利用者への相談後の気持ち



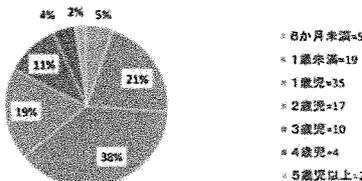
5 親子ひろばの満足度



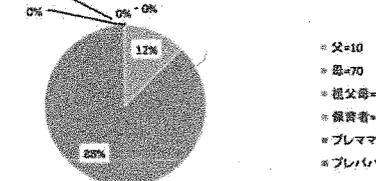
6 利用回数



7 子どもの年齢



8 子どもとの続柄



- ・こちらは外でもあそべるので、そして広いので子どもものびのびあそんでいます。
- ・いつも沢山あそばせて頂きありがとうございます。
- ・おもちゃ、絵本の寄贈は可能ですか？
- ・ぶんちっち広場とプレステどんどこの休みの日(月曜)がずれているとありがたいと思います。
- ・家にいるとももの足りなさを感じるようになってきた息子ですが、親子ひろなに来るとのびのび遊んでいるし、私自身もスタッフさんや他のお母さんと話ができてリフレッシュになります。いつもありがとうございます。
- ・子どもを自由に遊ばせられる空間があるのは本当にありがたいです。スタッフの方々も目を配ってくださり、まますの会話も楽しめるので、母としても大切な場所です。
- ・スタッフさんの雰囲気やわらかくてお話しやすいです。手作りのもの(工作モノ)が素敵です。
- ・いつもくるたびにかわいい装飾がされていて楽しいです。イベントとかに参加したことがあまりないですが、機会があれば参加したいです。
- ・土よう日に開いているのは本当に助かります！
- ・おもちゃがたくさんあり、子どもも楽しそうに利用させてもらってます。スタッフさんもさり気なく子どもを見てくださり有り難いです。
- ・普段他の子たちとの交流の場がないので、子どもを遊ばせることができる場所があつてよかったです。
- ・いつも楽しく遊ばせてもらっています。子どもの遊び場がどこも月曜お休みが多いので、どこか月曜日もやってくれるとうれしいです。
- ・スタッフさんが気にかけてくれるので初めての際も安心して利用できました。赤ちゃんタイムが週1なので週2とかに増えるといいなと思います。
- ・このような広場があつて助かっています。助産師さんに気軽に相談できるし、子供も遊ばせてあげられるので定期的に利用させていただいております。
- ・中でも外でも遊べる広い施設があつて本当に嬉しいです。子どもも「どんどこ行きたい」と言って行きたがります。スタッフの方もとても優しく、沢山いて下さることも安心です。
- ・いつもありがとうございます。私にとって必要な場所です！！
- ・おもちゃがいっぱいあるので、あきずに遊べるので長い時間いる事が出来る。駄菓子屋さんもあるので、おやつを持ってこなくても大丈夫なので助かる。
- ・カフェができてからより快適です。
- ・授乳室、きれいなトイレ、乳児スペースなどがあり、とても助かりました。初めての育児で乳児と2人で出かけるハードルが高かったので、家の近くに「どんどこ」があつて良かったです。
- ・特にありません。
- ・小さな子供が遊べる施設に子供だけでなく親も気分転換になっています。本当にありがたいです。
- ・ジョイントマットですべりにくくなりころんでも安心になりました。ありがとうございます。
- ・おもいきりあそばせることができ、子供も親も満足です。スタッフの方もみなさん優しく、心地よく過ごすことができます。ありがとうございます。
- ・現在二人の育児をしておりますが、国分寺の親子広場が無かったら乗り越えられませんでした。産後のうつも皆様にお話を聞いてもらい、こくふくできました。親子広場で出来たママ友は、今では休日にも遊ぶ程、仲良くなりました。子供にとってはおさななじみ・・・大人になっても会える宝が出来たと思っております。感謝しております。いつもありがとうございます！！
- ・砂よごれが少し気になります。せめてお部屋の中だけでももう少しキレイだと嬉しいです。(定期的にモップがけをするなど)
- ・スタッフさんがいつも明るく声をかけてくださって楽しく過ごしています。ちょっとした悩みも相談しやすいのでとても助かっています。
- ・プレステで出会ったママさんとプライベートでも交流があつたり、保育園や他施設の情報交換をしたりと、とても良い出会いの場となっています。自主サークルにも参加しているので、子どもを外で遊ばせたり、自然と触れる機会も作れるのでとてもありがたいです。
- ・いつも保護者にもこどもにも親身になってあたたかく対応していただき、親子広場に行くとポカポカな気持ちになって家に帰れます。
- ・いつもスタッフの方とのおはなしも楽しく利用させて頂いています。
- ・いつも遊ばせて頂き、楽しく利用しています。他のお友達と仲良くなれたり嬉しいです。
- ・子供も2人つれていってるので、下の子の様子をみてくれたりだっこしてくれたりとても助かっています。
- ・いつも優しく明るくむかえ入れて下さってありがとうございます！プレステが無かったらたぶん産後うつになっていたろうし、二人目を産む気持ちにならなかつたと思います。近くに公園もあまりなく、家の中だけでこのコロナ禍にとじこもっているのはつらかつたので、本当に感謝しています。
- ・いつもお世話になっています。スタッフも皆様優しくコロナ禍でなかなか出かけられない中、貴重な遊び場になっています。今後ともよろしく願います。
- ・広くて長く子供があそべそううれしいです。
- ・スタッフの皆様の子供への接し方が優しく、さすがだなと思うことが多々あります！
- ・いつも楽しく利用させて頂いています。リーダーのみなさんの優しい雰囲気がありがたいです。
- ・いつも温かく迎えていただき、親子共々本当に感謝しています。とてもキレイな施設でたくさんあそばせていただけて、本

当にありがたいです。

・いつもありがとうございます。

・子供が1才の時引越してきて、なかなか同じ年のお子さんを持つ方と知り合えなかったので、それぞれの月齢に合わせた広場があったら良いなと思いました。スタッフの方々はいつも親切で相談にもものって頂き、感謝しています。

・いつもスタッフの方にお世話になっています。特に塩原さんに良くしてもらってます。ありがとうございます。

・いつも笑顔で子供の名前をよんでくれて親としても見守る方がいることの安心感を抱くことができます。ありがとうございます。家では目が離せずこちらでちょっとでも目が離せる(どなたかが見ていてくれる)時間があるので少し気持ちが休まります。

・プレステはいろいろなことができ、食事もしやすく室内もありとても助かっています。(土曜、日曜もありがたい)

・いつも楽しく利用させてもらっています。以前ですが、他児の保護者の方が我が子と一緒に遊んでいる様子を許可なく写真撮られていたのがモヤモヤしました。ルール等設定してもらえると助かります。

・このような広場があったことを知らなかったのでたすかります。

・雨の日、暑い日などに利用させていただき、ありがとうございます。午前中、夕方、夜と子どもが遊ぶ時間がたくさんあるので少しでもちがう環境で遊ばせてもらえて助かります。スタッフさんもいっしょに遊んでくださるので、子どもも楽しそうだし、私もホッとできる場です。いつもお世話になっています。

・どんどこはマットもしかれてすごしやすくなりました！プレステに다가しやができて子どもが「ゴミ箱ないから、ここにおいておこう」とウッドデッキにおかしのごみをすててるのがすこし気になります。(その時は、もう一人のお子さんが持ってかえる！と言ってたのでそれにつられてもう一人の子も持ってかえていました。)

・いつも楽しく遊ばせてもらっています。

・まだ2回目の利用なので、特に問題なく楽しく利用させていただいています。

・特になし。いつも楽しく遊ばせて頂いて感謝しています。

11. お気づきの点・ご感想など(回答書)

プレイステーション親子ひろばBOUKENどんどこ

☆ 皆様、たくさんの感想、ありがとうございます。

どんどこが皆さんにとって、いい場所となっていると感じ、スタッフ一同、嬉しく感じています。

皆様の好意的なご意見、ご感想を励みに、これからもよりよい親子ひろばを目指して頑張りたいと思います。

☆ 回答

・ おもちゃ、絵本の寄贈は可能ですか？

⇒ありがとうございます。置き場所の問題もあり、一度、写真などで検討させていただけると助かります。

・ ぶんちっち広場とプレステどんどこの休みの日(月曜)がずれているとありがたいと思います。

いつも楽しく遊ばせてもらっています。子どもの遊び場がどこも月曜お休みが多いので、どこか月曜日もやってくれるとうれしいです

⇒市に要望として伝えます。

スタッフさんが気にかけてくれるので初めての際も安心して利用できました。

赤ちゃんタイムが週1なので週2とかに増えるといいなと思います

⇒赤ちゃんタイムでない日も、ぜひ遊びに来て下さい。他の年齢の親子とかかわることもいい機会だと思います。ベビーコーナーもあるので安心です。

砂よごれが少し気になります。せめてお部屋の中だけでももう少しキレイだと嬉しいです。

(定期的にモップがけをするなど)

周囲が土や畑に囲まれているので、すぐに埃っぽくなってしまっって申し訳ありません。

こまめな床拭きを心がけたいと思います。

いつも楽しく利用させてもらっています。以前ですが、他児の保護者の方が我が子と一緒に遊んでいる様子を許可なく写真撮られていたのがモヤモヤしました。ルール等設定してもらえると助かります。

⇒気が付かずに申し訳ありません。ルール設定して、利用者にも周知したいと思います。

どんどこはマットもしかれてすごしやすくなりました！プレステにだがしやができて、子どもが「ゴミ箱ないから、ここにおいておこう」とウッドデッキにおかしのごみをすててるのがすこし気になります。

⇒ゴミ箱を設置した時、分別が大変で、また、事業系ゴミ袋が高額なため、持ち帰りとなりました。

ゴミの持ち帰りを子どもたちにも徹底していきたいと思います。

アンケート結果からの考察

利用者アンケート(1ヶ月間実施)からは、プレイステーションの満足度は、大人100%、子ども96%、親子ひろばは、100%であった。

子どものアンケートで今回初めて質問項目に加えた「駄菓子屋の利用」が84%、「仕事体験」は56%の利用があり、それぞれ、再度利用したいという回答もほぼ同じ数あったことは、どちらも子どもたちに受け入れられていることが証明できた。

大人アンケートでは、のびのび遊ぶことができる場所、家ではできない遊びができる場所など、プレイステーションでいろいろな遊びが体験できることなどを評価する記述が多かった。今回初めて、駄菓子屋の利用もアンケート項目に入れたが、76%の利用があり、また、仕事体験への興味があるという回答は81%あった。プレイステーションが開いている時間すべてに駄菓子屋、土日カフェ(どーにっち)が行われているわけではないが、半数以上の方が利用できていた。また、土日カフェ(どーにっち)の夫婦での利用が16名あり、利用された方の27%で、土日の乳幼児を連れての夫婦の利用が多いことが証明された。

親子ひろばアンケートでは、自由記述からもスタッフの丁寧な対応や遊びの内容などのいい評価をいただいた。

アンケートの自由記述には多くの意見があり、全ての意見に対して現場スタッフで話し合いを行い、いただいた意見を活動に取り入れている。また、いただいた意見と答えを来場者が見える形で掲示を行い、来場者に見える形を取っている。

(別紙4)

2022年度(令和4年度) 国分寺市プレイステーション利用者懇談会の記録

第一部 子どもの利用者懇談会

開催日時 ①9月24日15:00~16:00 ②9月25日14:00~15:00

参加者数 ①小学生2名 ②小学生9名、中学生、高校生2名

最初に子どもたちに紙を配布し、要望などを書いてもらい、ホワイトボードに貼りだしながらまとめていった

1. 子どもたちの要望

- 工作材料について** ・長くて太い木が欲しい。 ・基地用の木材がほしい
- 施設全体について**
 - ・基地エリアにトイレがほしい ・基地エリアを広くしてほしい
 - ・山の横の道をころびにくいように整備してほしい ・日かげが欲しい ・草刈りしてほしい
 - ・外に休めるところがほしい ・お菓子を食べる専用スペースがほしい
- 遊具について**
 - ・すべり台を修理してほしい ・すべり台に屋根がほしい
 - ・山にトンネルが欲しい ・木登りできる木が欲しい
 - ・基地にカーテンをつけたい ・すべり台を上りやすくしてほしい。
 - ・スケボー場が欲しい
 - (幅3m、長さは20mくらい。小さい子などが入らないようにするため、柵を作る。
 - 素材はコンクリート。場所は以前のスケボーエリアに作る。その他荷物置き場(スケボ一を置く)が必要。きれいに使いたい(ドロで汚れないように))
 - ・遊具を増やしてほしい
 - (タイヤブランコ・アスレチック・ジャングルジム・ボルダリング)
 - ・山の上に塔がほしい
- 室内の遊び場について**
 - ・小説を増やしてほしい。恋愛小説が読みたい
 - ・漫画を増やしてほしい。呪術廻戦・東京リベンジャーズ・お文具さん
- イベントについて**
 - ・まつりをやりたい
- その他**
 - ・だがしやのゴミが多い。ゴミ箱の設置か持ち帰りを徹底してほしい
 - ・PLをくびにしないでほしい・プレイステに来るまでの歩道が狭い。車が多く怖い。
 - ・ブレードボードをやりたい

2. 子ども懇談会の様子

懇談会は駄菓子屋前にて開催した。子どもたちは元気にプレステに欲しいものを紙に書いてあげていった。中学生や高校生2名の参加もあった。

スケボーをやりたいという声が小学生からも多くあがっていて驚く。本当はやりたかった様子。中学生、高校生からはスケボー場に関して真剣で綿密、具体的な要望が出た。

その他、本や木材の要望、基地エリアの拡大や、アスレチックなどの遊具を増やして欲しいなど、要望が多かった。

プレイリーダーからは、要望について一つ一つコメントがあり、ほとんどが実現可能なものだったので、日々の活動の中で一緒に作ったり準備しながら実現しようという話があった。

スケボー場に関しては簡単な話ではないため、今後大人の懇談会でも話し合っていていこうというまとめになった。

第2部 大人の利用者懇談会

開催日時 9月25日 15:00～16:00

参加者数 大人5名、中学生、高校生2名

1. 大人、中学生・高校生の要望

同じように始めに紙を渡して要望を書いてもらい、ボードに貼りだしてまとめていった。

○イベントについて

- ・まつりをしてほしい
- ・お泊り会がしたい
- ・懇談会を平日に開催してほしい

○遊具について

- ・すべり台がほしい
- ・ボルダリングができればよい
- ・ツリーハウスがほしい
- ・テニスコート

○サービスについて

- ・平日にコーヒーを購入したい
- ・夕ぐれ食堂(こども食堂)があったらよい
- ・ワークショップ・講座を開いてほしい
- ・軽食があるとよい(キッチンカーや移動パン屋など)
- ・ママ用におにぎりがほしい
- ・どこどこにリサイクルコーナーがほしい
- ・貸し出し用長靴のサイズを記載してほしい。

○ルールについて

- ・駄菓子のごみを幼児が口に入れるので持ち帰りを徹底してほしい
- ・食べるスペースをきちんと決めてほしい

○その他

- ・外国人と交流したい
- ・刃物を小さい子が触りそうで気になる。
- ・スケボーが幼児にあたりそうで怖い
- ・線路わきの道路に子どもたちがたむろしていると車であたりそうで怖い
- ・ねこ車が速くてこわい。

・小学生が、一緒に遊んでほしいと言われるが(幼児連れの母)なかなか難しい場合も多
くどうしたものか

○スケボーについて

- ・小さい子たちはスケボーを見たい、教えてもらいたいと思っている。
- ・国分寺市にはスケボー場がない。プレステで作って実績としたい。
- ・スケボーのイメージがよくないので、スケボーのイメージを向上させたい。
- ・中学生・高校生からは具体的な計画について話があった。
 - ・市内にはスケボー場がないからプレステでスケボーしたい
 - ・具体的に大きさ 3メートル×30メートル
 - ・フェンス必要 フェンスはあまり固いと衝撃が強い。
 - ・下地はコンクリート
 - ・靴を洗える場所(滑る前に)がほしい ・スケボーを置ける場所も
 - ・上手な子と初心者とを分ける必要は？に対して
「一緒にいいと思う。教えることができるから」

2. 話し合いの経過など

貼りだされたものの中から、分かりやすいものからプレイリーダーが説明。

- ★まつりについては駐車場が確保できないことがネックとなって大規模は難しい。ただ、規模を小さくして小分けのイベントを行っていくことは可能なので検討していく
- ★お泊り会は今のところできないが将来的には可能性がある
- ★ツリーハウスは、大きな木がないため今は難しい
- ★テニスコートは線路わきのためボール遊びが難しい
- ★平日のコーヒーや軽食などは今後出張販売などを検討してみる
- ★ワークショップや講座については、「どーにっち」や「どんどこ」などでも企画していくし、プレイステーション全体としても考えていく。
- ★貸し出し用長靴のサイズ表示はすぐにでも対応する
- ★ゴミについては、ゴミ箱をやめて持ち帰りをしてもらっているが、駄菓子のゴミなどは放置されやすい。より工夫を考えたい。利用者にも協力を求めていく
- ★外国人との交流は平日が多く来るのでぜひ話しかけてください。
- ★工作道具の危険については片付けなどを徹底します
- ★調理が可能かどうかは市と相談してみます。
- ★スケボー場について
 - ①出席者や中学生、高校生からイメージ向上のためのアイデアが次々出てきた。
 - あいさつをする(中学生からも提案)
 - フレンドリーな雰囲気を出す(大人から)
 - 服を着る(大人から) ・髪の毛を染め変える(中学生から)

清掃活動をする（中学生から）

②イベントを行っていくのはどうか（市の駐車場をイベントとして借りて、こどもまつりを行う。そこでまつりの一部としてスケボー場を設けてみる、）などの案。この話には中学生・高校生も大いに乗り気になっていた。

③プレステへの要望のみならず、将来的には国分寺市にスケボー場を要望してゆくために、中学生・高校生からは安全への徹底配慮や、掃除、ゴミ拾い、笑顔で挨拶などの管理業務への協力も申し出があった。

中学生たちの積極的な姿に会場からは拍手が起こった。

「怖いから服を着て欲しい」との要望には「怖くねえよお」と苦笑。なごやかに終了した。

利用者懇談会（こども）

2022年9月24日 15:00~16:00 9月25日 14:00~15:00 プレイステーション

どんなものがプレイステーションにあたらいいですか

【材料】

- ・長くて太い木が欲しい。・基地用の木材がほしい

【施設】

- ・基地エリアにトイレがほしい・基地エリアを広くしてほしい
- ・山の横の道をころびにくいように整備・外に休めるところがほしい
- ・日かげが欲しい・草刈り

- ・トイレはつくるのはむずかしいです。
- ・これから、山の道を直していきます。ぜひ、一緒にやってください。
- ・日かげがほしいときは、プレイリーダーに相談してください。

【遊具】

- ・すべり台を修理してほしい・すべり台に屋根がほしい
- ・山にトンネルが欲しい・木登りできる木が欲しい
- ・基地にカーテンをつけたい・すべり台を上りやすくしてほしい。
- ・スケボー場が欲しい
 - ★幅3m、長さは20mくらい
 - ★人が入らないようにする
 - ★柵を立てる
 - ★素材はコンクリート
 - ★以前のスケボーエリアに作る
 - ★荷物置き場（スケボーを置く）
 - ★きれいに使いたい（ドロで汚れないように）
- ・遊具を増やしてほしい
 - ★タイヤブランコ・アスレチック・ジャングルジム・ボルダリング
- ・山の上に塔

・プレイステーションの外をみんなが使いやすいように考えていきます。

【室内】

- ・小説を増やしてほしい。恋愛小説が読みたい
- ・漫画を増やしてほしい。呪術廻戦・東京リベンジャーズ・お文具さん

・部屋の中のマンガや小説などの本を今後考えていきますね。

【イベント】

- ・まつりをやりたい

・12月18日に、子どもまつりを考えています。
ぜひ、おまつりをいっしょにやりましょう。

【その他】

- ・だがしやのゴミが多い。ゴミ箱の設置か持ち帰りを徹底してほしい
- ・PL をくびにしないでほしい
- ・プレステに来るまでの歩道が狭い。車が多くて怖い。
- ・ブレードボードをやりたい

- ・今はゴミを持ち帰ってもらっています。みんなに話します。
- ・プレイリーダーはやめさせていませんよ。
- ・プレイステーションの前の道は狭くて怖いですね。帰る時には、プレイリーダーが危なくないように、見守ったりしています。
- ・ブレードボードは、今は難しいです。

利用者懇談会 (大人)

2022年9月25日 15時~16時 プレステーション ウッドデッキ

利用者より意見を出してもらいました。

【イベント】

まつりをしてほしい

- ・懇談会を平日に開催してほしい
- ・お泊り会

- ・現在、12月18日に、子どもまつりができないか検討中です。決まりましたらご報告します。
- ・懇談会は、平日する方向で考えます。
- ・お泊り会は、いつかできるように考えていきます。

【遊具について】

- ・すべり台
- ・ボルダリング

これからも、再度、場内の遊具を作っていきますが、参考にさせていただきます。

- ・ツリーハウスがほしい

大きい木が必要ですよね…

- ・テニスコートがほしい

線路わきなのでボール遊びができません…

【サービス】

- ・平日にコーヒーを購入したい
- ・たくれ食堂(こども食堂)
- ・ワークショップ・講座を開いてほしい
- ・軽食があるといい(キッチンカーや移動パン屋など)
- ・ママ用におにぎりがほしい

- ・現在、月に1度程度ですが、水曜日に、「水曜どーにっち」を開いています。
- ・子ども食堂については、すぐにできませんが、未来に向けて検討していきます。
- ・軽食については、土日のどーにっちでは、用意する内容の検討はしていきます。
- ・移動販売ですが、平日の導入になるかとは思いますが、平日の利用人数が読めないため、まだ導入は難しいと考えています。

- ・どこどこにリサイクルコーナーがあるといい
- ・貸し出し用の長靴のサイズを記載してほしい。

- ・リサイクルに関しては、今後、プレイステーションにて、11月29日(月)にバザーを開きます。ご利用ください。
- ・貸し出し用の長靴のサイズの記載は、わかりやすくしていきます。

【ルールついて】

- ・だがしのごみを幼児が口に入れるので持ち帰りを徹底してほしい
- ・食べるスペースをきちんと決めてほしい

- ・ゴミについては、徹底しますね。
- ・食べるスペースについては、現在は屋外のウッドデッキ、駄菓子屋前のテーブル。屋内に関しては、談話室になります。

【その他】

- ・外国人と交流したい

平日に来ることが多いです。ぜひ話しかけてください。

- ・刃物を小さい子が触りそうで気になる。

片付けを徹底します。

- ・スケボーが幼児にあたりそうで怖い
- ・線路わきの道路に子どもたちがたむろしていると車であたりそうで怖い
- ・ねこ車が速くてこわい。←今は走っていない。

- ・スケボーをする時は、現在、プレイリーダーがついて、気をつけるようにしています。ご心配な時は、お声掛けください。
- ・子どもたちに話します。
- ・ねこ車は、今は走っていません。

・調理はいつ可能になるのか

市と相談していますが、現在のコロナの状況から、みんなで調理をして食べることは難しい状況です。早く調理ができるようになるといいのですが。

・小学生と遊んでほしいと言われるが。。。

危ないと判断したときは断っていいです。

【スケボーについて】

- ・小さい子たちはスケボーを見たい、教えてもらいたい
- ・国分寺市にはスケボー場がない。

- ・国分寺市にはスケボー場がない。プレステで作って実績としたい。
スケボーのイメージがよくないので、スケボーのイメージを向上させる。

イメージ向上活動

- ★あいさつをする
- ★フレンドリーな雰囲気を出す
- ★服を着る
- ★清掃活動をする

- ・市の駐車場をイベントとして借りられるかもしれない。
こどもまつりのために借りてまつりの一部としてスケボー場を設けてみる。
- ・最終目標は「国分寺市にスケボー場を」

事業実施状況 指定管理者 自己評価票

施設名	国分寺市プレイステーション
指定管理者名	特定非営利活動法人 冒険遊び場の会

※評価値は、「5. 市の要求水準を大幅に上回っている」「4. 市の要求水準を上回っている」「3. 市の要求水準を満たしている」「2. 改善が必要である」「1. 根本的見直しが必要である」のいずれかを記載すること。

指標	評価項目	評価	理由
画収 確の支 適計	収支計画に基づき適正に執行されているか	3	昨年度の繰越金があり、新しい施設の3年目に入り、施設の清掃の不具合も出たため、その部分には繰越金を使用することになった。
業務の 履行状 況の評 価	協定等に基づき業務が実施されているか	3	指定管理に、新規事業の委託契約が加わる形での業務になり、スタッフが多く必要になったが、現スタッフでやりくりをする形で業務を実施した。
	開館予定日数・開館時間は守られているか	3	コロナ感染症が少しづつ収束に向かう中、公共施設再開のフローに従い、施設利用に当たっての留意事項に応じた開館予定日数、開場時間に基づき、活動を行った。
	業務遂行に必要な従業員数が確保され、執行体制が明確になっているか	3	新規事業が入り、スタッフをやりくりしてのシフトを組みながらの体制を組み、業務を遂行することができた。
	管理運営に必要な有資格者(防火管理者等)が確保されているか	3	管理運営に必要な防火管理者を置いている。
	書類は適正に保管され、必要な報告を市に行っているか	3	書類は鍵つきロッカーに保管し、必要な報告は行っている。
	施設全体が清潔に保たれているか	3	毎日の業務の始まりに、その日に入るスタッフ全員で朝会を必ず開き、昨日からの引き継ぎ事項の確認と共に、本日の業務の確認を行っている。その後すぐに場内外の施設点検を行い、安全、清潔に保っている。コロナ感染症の影響で、消毒等も徹底した。
	法定点検や検査等は確実に実施しているか	3	エレベーター管理、機械整備の検査は確実にしている。
サー ビスの 質に 関する 評価	利用者の満足度はどうか	4	利用者アンケート調査を行い、大人は100%、子どもは96%の利用者が楽しかったと答えている。子どもたちは、木工作、火の体験、ひみつ基地づくりなどの日常ではできない遊びが人気だった。また、大きな滑り台も人気のひとつである。大人からは、自由意見のなかで、外遊びをめいっぱい楽しめること、自由に遊ばせることができること、家ではできない貴重な活動ができることなどの記述が多数あった。
	利用者の声を施設の運営やサービスの向上に反映しているか	4	アンケート(プレイステーション子ども版、大人版、親子ひろば版)、利用者懇談会(子ども版、大人版)で出た意見に全て答え、わかりやすいように掲示をおこない、利用者からの声に丁寧に応えている。また、利用者懇談会では、子どもたちから出た意見を実際に大人たちに伝え、ディスカッションする場面もつくることができた。その懇談会の意見を行政に届け、その結果、利用者の声に応える形で次年度に場内にスケボーエリアを利用者とともに作ることを実現することができた。
	担当者のマナー、言葉づかい、服装等は適切であるか	4	利用者に向けて、プレイリーダーの存在がわかるように、「ビブス」を着用している。また、初めて遊びに来た利用者には、事務スタッフ、プレイリーダーが協力しあい、プレイステーションの様子がわかるチラシと共に利用の仕方の注意点を書いたチラシを渡し、案内をしたり説明をしている。
	クレーム等に対して適切に対処しているか	4	プレイステーションの利用者の子どもたちの送り迎えの車が、近隣の空き地や近隣の商店の前に停車を行うことにより、苦情につながった。その件についてはお詫びをし、話し合いを行い、利用者の駐車、停車を防ぐために、コーンやパーを購入し設置を行い、効果があったと思われる。そのほか、隣の畑に子どもが石を投げこむなどがあったが、すぐに隣人と話し合いの機会を設け、対策としてフェンスの上にネットを貼る対策を施した。
	個人情報が適切に取り扱われているか	3	個人情報に係わる利用者カードの管理は鍵つきロッカーに保管している。
	業務に必要な研修を実施しているか	5	今年度は、現任研修として年間8回(3月、5月、6月、7月、9月、11月、12月、3月)の研修を行った。
	合理的配慮等、障害者への対応は適切であったか	3	障害者の利用があった際、身障者用駐車場を利用した。室内の親子ひろばの利用の際には、エレベーターをご案内し利用した。屋外には、場内に設置したバリアフリーの通路を利用し子どもたちの工作エリアへ行くことができた。また、駄菓子屋は階段があるため、中へ入ることはできなかったが、駄菓子屋でのお菓子などを室外から出して、デッキ横に急遽、駄菓子屋を開き対応した。屋外には、インクルーシブのためにバケツブランコを設置しているため、ブランコに乗ることが難しい親子へ対応することができた。

	業務の改善を図ったか (※改善の指摘事項があった場合のみ記載)		
施設 水 準 の 性 に 価 値 に 応 じ た	ブレイリーダーの育成に関する講習会等は効果的に実施されているか	4	フィールドワーク55名、シンポジウム65名と多くの参加者があり、アンケートではフィールドワークは98%がとても良い、と高評価。シンポジウムは各地の居場所の活動紹介が98%、まとめが87%がとても良いとの評価を得た。グループワークについてはまとめが難しかったという声がありとても良いが73%にとどまったが、地域の教育福祉関係者も参加し、情報共有が進むという波及効果があった。講習会後に活動に参加したい、ブレイリーダーになりたいなどの問い合わせ、応募がいくつかあり、ブレイリーダー育成に効果があった。
指定管理者の自己評価			
総合評価		評価の理由等	
4	市の要求水準を上回っている	<p>今年度は、全体の利用者は、25,096名だった。昨年度と比べ、約3,000名の利用者が増加した。そのうち、親子ひろばの利用者は4,956名で前年度より約1,000名増加した。駄菓子屋、土日カフェの効果もあり、土曜日の利用者がとても多く、利用者増加に伴い、安全確保のためにブレイリーダーを加配しての活動を行った。利用者アンケート(1ヶ月間実施)からは、プレイステーションの満足度は、大人100%、子ども96%、親子ひろばは、100%であった。自由記述欄からは、プレイステーションや親子ひろばの存在価値や良さが多く述べられていた。</p> <p>アンケート結果からは利用者の満足度が高かったが、学校に行っていない子や、家庭などに様々な事情を抱えた子どもたちが多く遊びに来ていることから、0歳から18歳までの子どもたちが来る遊び場としては、全ての利用者に満足いく形での運営の難しさも抱えているのも事実である。今後も、利用する子どもたち、大人たち、地域の人たちの声に応えながら、丁寧な運営を行っていく。</p> <p style="text-align: right;">代表理事 武藤 陽子</p>	

- 5 市の要求水準を大幅に上回っている
- 4 市の要求水準を上回っている
- 3 要求水準を満たしている
- 2 改善を要する
- 1 抜本的見直しを要する

令和4年度 指定管理者 苦情受付・対応件数報告書

指定管理業務名又は施設名	国分寺市プレイステーション
--------------	---------------

年	月	件数(A+B)	苦情者内訳	対応後完了 件数	その他 件数
令和4年	4月	1	A 0	0	0
			B 1	1	0
	5月	0	A 0	0	0
			B 0	0	0
	6月	1	A 0	0	0
			B 1	1	0
	7月	0	A 0	0	0
			B 0	0	0
	8月	0	A 0	0	0
			B 0	0	0
	9月	0	A 0	0	0
			B 0	0	0
10月	0	A 0	0	0	
		B 0	0	0	
11月	1	A 0	0	0	
		B 1	0	1	
12月	0	A 0	0	0	
		B 0	0	0	
令和5年	1月	0	A 0	0	0
			B 0	0	0
	2月	0	A 0	0	0
			B 0	0	0
	3月	0	A 0	0	0
			B 0	0	0
合 計	3	A 0	0	0	
		B 3	2	1	

A … 利用者又は家族からの苦情件数

B … A以外からの苦情件数

対応後完了件数 … 苦情受付後、対応により完了した件数

その他件数 … 苦情を聞き置く等、上記以外の件数

国分寺市プレイステーションご意見受付連絡票

※指定管理者受付後、速やかに担当課へ送付してください。

受付日	令和4年 4月16日(土)	子ども子育て支援課			プレイステーション
		課長	係長	係	指定管理者受付
受付時間	15時				

電話 来園 その他

意見	氏名	■■■■様 <input type="checkbox"/> 不明	電話	<input type="checkbox"/> 不明
	住所	<input type="checkbox"/> 不明		

ご意見要旨

・フェンス近くにいたスタッフが、隣の畑に薬剤を散布中の■■■■に声をかけられる。「畑で多数の小石を拾った。子どもたちが投げたんだろ。」「これまでも再三言ってきた。これで3回目(の注意)だ。これ以上続いたら市役所に言うことにする」と話された。休憩中だった■■■■が対応のために呼ばれ、フェンス越しに話を伺った。■■■■は「今歩き回っただけでこんなに取れた」と両手いっぱい的小石を取り、フェンス越しに投げ入れた。「目の前に石があったら投げたくなる子どもの気持ちはわかるが(やめてさせてほしい)」とのご意見を10分ほど伺い、「早急に対策を講じます」「フェンス沿いにネットを張るなどはいかがでしょう」と提案した。

対応結果

大変お怒りの様子だったが、対応案を出したことでご納得されたように思えた。その場ですぐ、数メートルの防風ネットを設置。担当の子ども子育て支援課と相談し、即日対応するために防風ネットを購入しにホームセンターへ。在庫の30メートル分を全て購入し、設置を始めた。翌朝、フェンス沿いの剪定する必要があるため■■■■宅を訪ね、奥様にお話を伺い、「そちらで切っちゃっていいですよ」とお返事をいただいた。即日作業を始め、対象範囲の半分を覆った。その後、追加分の防風ネットを購入し、防風ネット設置を完了した。

国分寺市プレイステーションご意見受付連絡票

※指定管理者受付後、速やかに担当課へ送付してください。

受付日	令和 4年6月4日(土)
受付時間	11時50分頃

子ども子育て支援課			プレイステーション
課長	係長	係	指定管理者受付

電話 来園 その他()

意見	氏名	■■■■ さま	電話	<input type="checkbox"/> 不明
	住所	国分寺市プレイステーション北側空き地持ち主の方		
ご意見要旨				
<p>・うちの土地(プレイステーション北側の更地)に車が停まっている。プレステの利用者が停めているのだろう。プレステに来る人はいつもうちの土地に停めている。隣の■■■■に頼んで、車が停まっているときは連絡してもらおうようにしている。今日は電話が来たので来た。ここに停めるのはそちらに来る人だけだのご意見をいただく。</p>				
対応結果				
<p>【その後の当日の対応】話を丁寧に伺い、代表に指示を仰ぎ、利用者が周辺道路や空き地に駐停車しないよう、大型の注意書き(1メートル程)を作成し、道路側に張り出した。 休場日を挟んだ翌々日、隣の空き地の持ち主の住所を訊ねに、代表と現場プレイリーダーが■■■■を訪問。あらためて謝罪し、再度話を伺う。■■■■は「(張り紙など)すぐに対応していただいた」などと話し、「これからもよろしく願います」と話される。 【6日月曜日午後の対応】代表と現場プレイリーダーが■■■■に再度出向き、隣地の空き地の様子を伺う。時々、停めている車があるようだという話を聞く。また、隣地の持ち主の方をお聞きする。■■■■のご実家ということがわかり、そのお宅に、停車した車があったこととお詫びに行き、話を伺う ⇒ 「(張り紙など)すぐに対応していただいた」などは評価していただいた。また、今後もこちらとしては気をつけていくことを話した。 【8日水曜日午後の対応】代表、理事とで■■■■宅を再度訪問。再度の謝罪とともに、ご相談に伺う。空地前でスタッフがずっと見張っていることができないため、空地前に、コーンとバー、張り紙を置かせていただけないかという提案をする。■■■■はその提案を受けていただき、今後、土曜日日曜日の開場日には、10時から17時の間、スタッフがコーンとバーを設置することを認めていただく。11日(土)から設置することをお話し、すぐにコーンとバーを購入し、11日から毎週土日の設置を行っている。</p>				

国分寺市プレイステーションご意見受付連絡票

※指定管理者受付後、速やかに担当課へ送付してください。

受付日	令和4年11月2日(水)	子ども子育て支援課			プレイステーション
		課長	係長	係	指定管理者受付
受付時間	17:30				

電話 来園 その他(子育て支援課へ電話)

ご意見主	氏名	<input type="checkbox"/> 不明	電話	<input type="checkbox"/> 不明
	住所	<input type="checkbox"/> 不明		

【ご意見要旨】
 プレイステーションがある場所の向かいの通りに住んでいるのですが、音楽がうるさくて困っています。一度プレイステーションに電話で問い合わせた上で外で音楽をかけること辞めてもらったのですが、1ヶ月も経たないうちにまた音楽をかけ始めたので直接電話しても意味がないと判断して市役所に連絡しました。周りに遮る建物もなく重低音ですごく気になるので、市役所からプレイステーションに一言お願いします。

対応結果
 【国分寺市子ども子育て支援課の対応】
 国分寺市役所子ども家庭部子ども子育て支援課です。
 この度は、国分寺市プレイステーションからの音楽の音に関する事で、多大なる御迷惑をおかけしてしまいましたこと、大変申し訳ございませんでした。心よりお詫び申し上げます。また、本日(11月2日)、突然にお電話をしてしまい、お騒がせしてしまいましたことも、大変失礼いたしました。

当課におきまして、国分寺市プレイステーションの管理運営を担当しておりますので、お問合せをいただきました内容を、直ちに運営に係る事業者と共有し、その原因となった現場の確認をいたしました。本施設は、近隣の皆様の御理解の上でなければ成り立たない地域の居場所となるべきものと考えております。今後、このようなご迷惑をおかけするようなことがないよう、今一度事業者とともに気をつけてまいりますので、今後とも何とぞよろしくお願い申し上げます。

【現場の対応】
 まずは、子どもたちに音が大きくて困っている人がいることを話した。また、プレイステーション入口付近でのスピーカーを使用しての音楽を鳴らすことを禁止した。また、スピーカーではなく、スマホから音を出している時は必ずスタッフが道路向こうまで行き、実際の音の聞こえ方を確認し、子どもたちに伝えることで子どもたちと話をしている。現在は音量測定器を購入し、子どもたちにわかりやすく音の大きさによる迷惑があるということを伝えている。

(別紙7)

(6) その他管理等に係る必要な計画の実施状況

実施状況

1. 遊び場の環境整備

(1) 身体を使って遊べる工夫

- ・滑り台を築山の斜面を利用して再設置した。これにより、親と一緒に滑ったり、最初から最後まで手を繋いだりできるようになり、幼児親子がより安全に楽しめるようになった。
- ・大型のバケツを遊具に装着し、バケツブランコとした。これによってブランコが自力で漕げない子どもも安心して親子で楽しめるようになった。
- ・場内中央付近に竹、雨樋、衝立などを配置し、自由に組み替えられる立体の水遊び装置にした。初めてきた子どもも、これにより創造的に泥や水にまみれて遊ぶ機会が増えた。
- ・安全にスケートボード遊びを行うため、安全確保のための衝突防止フェンスを複数作成した。スケートボードを行う際は必ずスタッフが安全管理や解説のためにつきそうようにした。行き交う人々に挨拶や駐輪のサポートなども行うようになり、異世代交流の場にもなった。

(2) 体験活動ができる場の設営

- ・子どもが楽しく片付けられるよう、利用者（保護者）と協力して、ままごと道具用の棚を作成、設置した。
- ・火傷や近隣住宅に配慮するため、自分達で作成した安全管理マニュアルに沿った火起こし体験活動を実施した。
- ・カリンの木、桑の木の剪定を子どもと共にに行った。
- ・ザリガニ、メダカのための水槽を設置、装飾し、子どもと共に観察しながら飼育した。
- ・工作台、工作道具、材料を常時配置し、プレイリーダーの指導のもと創意工夫を凝らした木工体験を行っている。
- ・基地エリアは各区画1ヶ月の契約（更新可）とし、次回の来場が見込めない子どもも楽しめるよう、その日だけ自由に施工できる”1日基地エリア”を設置し、利用された。
- ・周辺地域の建築現場を周り、大工と連絡先を交換し、端材などをいただいた。
- ・子どもまつりの開催（自主事業として）

子どもの自分のお店を開きたいという気持ちに応えるためのおまつりを開催した。子ども主体のまつり。店を開くために決まり事を決め、企画書を提出してもらい、プレイリーダーと一緒に考えることで子どもたちの気持ちをサポートし実現した。

12月18日（日）12：30～15：00 参加者 290名

*子どもの店：9店舗

*幼児用の遊びのコーナーを設ける。

(3) 子どもの居場所として機能させる

- ・土日限定でカフェ（カフェドーナツ）を設営し、親子の憩いの場、子育て中の保護者が一息つける場として機能させた
- ・駄菓子屋では子どもが仕事体験によってオリジナルの通貨を稼げるようにし、遊びの入口になると共に、経済観念の学び、働くこと、挨拶することの意義付けに寄与した。親子ひろば“BOUKEN どんどこ”に出張し、読み聞かせなどで幼児親子と交流する機会を持った。
- ・中高生の年齢対象の時間帯（夜8時まで）を設定し、夕暮れカフェとしてオープンした。学校にも家にも居場所がない子どもたちも毎日来ており、毎日料理を作っている。スタッフが寄り添い、サポートしている。
- ・大型の段ボールをもらいに行き、情緒の安定しない子どもが突発的に発散できるように設置した。

(4) 日常の遊びの支援・活動

【年間を通した遊び・活動】

○身体を使った遊び

泥遊び、スケートボード、チャンバラ、ウォータースライダー、水遊び、滑り台、バケツブランコ、竹馬、シーソー、電車ごっこ、おにごっこ、かくれんぼ、だるまさんがころんだ、三輪車など

○ものづくり

*木の遊び道具（剣、ブーメラン、手裏剣、車など）、基地作り、遊具、家具、台車などの乗り物、アクセサリ小物、木箱、フォトフレーム、パズルなど。

*竹を使って

弓矢、コップ、笛、刀、ハシ、ランタン、竹トンボ、水路など。

*革・糸・毛糸・など手芸

革細工（ストラップ・ペンダント・財布など）、羊毛工芸（虫・ボール）、ビーズ工芸、編み物、ガーランド、ミサンガ、木の実などを使ったクラフト など

*金属

ハンダ、アルミホイール工作 など

*粘土

粘土で工作（人形・動物・器など）、陶芸 など

*その他

シャボン玉、スライム、オーナメント など

○火を使った体験活動

焼きビー玉、炭作り、ろうそく実験、釘ナイフなど

○生活に即した遊び

仕事体験、畑作り、花壇、基地づくり、川づくり、虫取り、昆虫・魚・ザリガニなどの飼

育、季節の遊び（クリスマスツリー作り、豆まき、七夕かざり）など

○土と水、風など自然遊び

水路作り、ピタゴラスイッチ、穴掘り、どろだんご、池作り、風車、ミストシャワー、足湯、水風船、紙飛行機など

○ゲーム等

エアホッケー、ボール転がし、クギさし、コマ、ベーゴマ、昔遊び、けん玉など

○室内の遊び

プラレール、マンカラ、ボードゲーム、ドミノ、将棋、オセロ、卓球、ミニ四駆、読書、あやとり、レゴブロック 楽器演奏、など

2. 親子ひろば事業の運営

(1) 乳幼児とその保護者、妊婦の交流の場の登録届の受理事

- ・乳幼児とその保護者、妊婦の利用にあたり、登録届の受理、登録名簿を作成し管理を行った。また、実施日における利用者の氏名、人数等の管理を行った。

(2) 乳幼児とその保護者、妊婦の交流の場の提供と交流の促進

○交流のイベント

- ・「ようこそ赤ちゃんタイム」（0歳児優先タイム）（毎週火曜日午後）

対象 0歳児（1，2か月～11カ月）内容 ふれあい遊び、自己紹介、フリートーン等、

開催回数：49回 参加者数：457組

- ・「プレイステーションで遊んでみよう」

外遊びまたは、プレイステーション屋外で遊ぶのが初めての親子のために、プレイステータッフとBOUKENたまごスタッフとコラボで行った。親子ひろばスタッフが丁寧にかかわり一緒に遊ぶことで、安心して外遊びを楽しめた親子も多かった。一体感がもてるように、手遊びや大型絵本などの読み聞かせも行った。

開催回数：9回 参加者数：118組

- ・「座談会」テーマを設けて話すことで、親同士の会話のきっかけとなるよう、助産師の日に座談会を開催した。

開催回数：6回 参加者数：33組

- ・「仲間づくり講座」の開催

1歳を超えた幼児たち親子の友だちづくり、交流の場として、講座を開催した。

開催回数：3回 参加者数：17組

- ・プレイステーションで行った子どもまつりへの参加（自主事業として）

子どもたちが企画し自分の店を開くことがメインの子どもまつりの中に乳幼児親子の交流の場としての幼児コーナーを作った。

12月18日（日）：参加者290名

- ・ふろしき市の開催（自主事業として）

乳幼児の親たちの参画、交流する場として開催した。

11月28日（月）：参加者 70名

○年齢や興味に応じた場づくり

- ・年齢に応じて遊べるよう、ハイハイ前の赤ちゃんのコーナーを設け、棲み分けをした。ハイハイの赤ちゃんがたくさんハイハイできるように、また、ヨチヨチ歩きの子がたくさん歩けるように、ひろばと廊下を周遊できるようにした。
- ・馴染みのあるおもちゃや絵本や遊具を用意した。
- ・来場者の年齢に合わせて、マンネリにならないように 定期的におもちゃの入れ替えを行った。絵本は日ごとにローテーションにして入れ替えた。
- ・用意した遊具（滑り台、大型積木（牛乳パック積木）、大型ブロック、ボールポスト、段ボール電車、人形、ままごと、音が鳴るおもちゃ、ミニカー、レゴブロック、プリオ、牛乳パックの電車、絵本、ガラガラ、ベビージム、ロディなど）

○親子遊びのための手作り遊具の工夫

- ・牛乳パックで作った積み木や椅子、段ボールで作った電車やボールポスト、家、トンネル、貼って遊べる果物の木など、身近な材料で簡単に作れるものを準備した。季節に応じて、簡単なおもちゃづくりができるように準備した。ペットボトルのマラカスづくりができるように材料を用意し、希望者にはすいている時に自分で作れるように準備した。牛乳パックの椅子を作りたいという利用者には、スタッフから集めた牛乳パックを分けて、家で作れるようにした。

○親子の楽しい遊び場の創出

- ・その場の雰囲気に応じ、年齢や季節に合わせた手遊びや絵本の読み聞かせを行った。
- ・季節に合った壁面装飾にして、ひろばが楽しい雰囲気になるようにした。誕生月には写真が撮れるように、ケーキの装飾やたんじょうびおめでとうのパネルを準備した。誕生月には写真を楽しみに撮りに来る親子も多かった。

○親子の参加・利用者同士の異世代交流

- ・手遊びで親子が参加したりアイデアを出してもらった。
- ・小学生が時々遊びに来て、赤ちゃんを段ボール電車に入れて引っ張ってくれたり、手遊びや絵本の読み聞かせをして交流の時間をつくった。駄菓子屋の仕事の一環で親子ひろばにも宣伝に来て、親子におすすめのものを教えてくれたり、絵本の読み聞かせをするなど親子と小学生がかかわる機会となった。
- ・利用者にも情報を聞きながら、お出かけスポットや桜スポットなどを書いて壁に貼り、会話のきっかけにしていた。

(3) 子育て等に関する相談、援助の実施

- ・ひろばの中で日常的にスタッフが相談を受けた。そこから助産師、管理栄養士、カウンセ

ラーなどの専門相談へつなぐこともあった。

- ・助産師の日(毎週水曜日午前)、カウンセラーの日(毎週木曜日)、管理栄養士相談(毎週水曜日午後)に開催。ひろばの中で遊びながら相談を受けた。

令和4年度の相談件数

相談種別番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	合計
相談項目	授乳・卒乳	子どもの食事	子どもの発達	生活リズム 生活習慣	子どもの健康	子どもの行動	親自身の悩み	他親とのトラブル	幼稚園・保育園	サービス・問合せ	その他	
ひろば スタッフ	10	45	33	19	15	20	46	2	13	19	0	222
カウンセラー	2	11	19	25	5	15	31	0	14	17	0	139
管理栄養士	6	92	2	5	10	0	5	0	0	0	0	120
助産師	20	12	13	13	17	3	33	0	1	3	0	115
合計	38	160	67	62	47	38	115	2	28	39	0	596

(4) 地域の子育て関連情報の提供

- ・市内で行われている親子ひろば、市内で活動している自主保育グループ、子育て関連の情報などの掲示を常時行った。また、子育て関連の情報チラシなどはすぐに手に取ることができるようにポケットをつくり親子に提供できるようにした。
- ・国分寺子ども・子育て支援円卓会議に出て得た地域の子育て情報は、毎月分かりやすく掲示板でお知らせした。
- ・地域の遊び場や子育て相談の情報など、見やすく掲示し、分類別にチラシを置いた。
- ・利用者にも情報を聞きながら、近隣のお出かけスポットや桜スポットなどを書いて掲示を行った。

(5) 子育て及び子育て支援に関する講習等の実施

- ・毎月、子育て関連の講座やイベントを行った。

実施日	講座・イベント名	実施状況
4月19日	「ベビーアロママッサージ講座」	0歳児参加者8組
5月7日	「パパとどんどこで遊ぼう、親子体操」	父向けイベント

		参加者親子 8組
5月17日	「おはなしのくにピピ」によるおはなし会」	参加者親子 22組
5月27日	「ベビーダンス講座」	参加者親子 4組（荒天のため、キャンセル4組）
6月14日	「親子で始める性教育講座」	参加者親子 6組 (キャンセル2組)
6月21日	なかまづくり講座①	参加者親子 6組
6月28日	なかま作り講座②	参加者親子 6組
7月12日	なかま作り講座③	参加者親子 5組
8月4日	「おうち性教育はじめませんか講座」	参加者親子 4組 (キャンセル3組)
9月22日	「抱っこひも講座」	参加者親子 6組
10月11日	「0歳からのおうち性教育講座」	参加者親子 5組
11月8日	「おはなしのくにピピ」によるおはなし会」	参加者親子 14組
11月22日	「大人も子どもも心おきなく泥にまみれよ講座」	参加者親子 6組
12月13日	「わが子へ伝えるおうち性教育講座」	参加者親子 6組
1月21日	「ダンボールで遊ぼう」	参加者親子 34組
1月24日	「卒乳の話講座」	参加者親子 5組 (キャンセル1組)
2月18日	「東洋医学的子育てアドバイス講座」	父向け講座 参加者親子 6組
3月14日	「災害時のためのローリングストック」	参加者親子 3組 (キャンセル1組)

(6) 地域支援に関する取組の実施

ア) 高齢者・地域学生等地域の多様な世代との連携を継続的に実施する取組

○プレイステーション、親子ひろば両現場にて、学生の受け入れを行った。

- ・東京経済大学学生 地域貢献：21名（期間：5月、6月、8月、10月、11月）
- ・東京慈恵会医科大学 実習：10名（期間：①5月24日～28日 ②5月31日～6月4日）
- ・国分寺市立第一中学校 職場訪問：4名（12月6日）

ウ) 地域ボランティアの育成、町内会、子育てサークルとの協働による地域団体活性化等の地域の子育て資源の発掘、育成を継続的に行う取組

- ・日常的に、2組の子育てサークルを受け入れ、参加者の受け入れも行い、孤立しがちな子

育ての中での仲間づくりを積極的に行った。

- ・子育てサークルに対して、活動がスムーズにできるよう、活動備品などの置き場所を確保し、活動を支えた。
- ・子育てサークルと一緒に、小イベントを企画し共同開催した。
ハロウィンイベント：10月27日 幼児28名、大人25名
クリスマスイベント：12月20日、27日 幼児102名、大人92名
節分イベント：2月2日、7日 幼児79名、大人74名

●子育て応援パートナー事業との連携

- ・日常の親子ひろばの中で、巡回している子育て応援パートナーの受け入れを行った。
- ・日常の親子ひろばの中で利用者からの相談を受けることも多く、さらに多方面からの支援が必要と思われる利用者については、子育て応援パートナーに繋ぎ、連携を図った。
- ・中央地区の地区連絡会に参加し、地域の子育てのネットワークづくりに関わった。

●「国分寺市子どもいじめ虐待防止条例」の遵守

- ・日常の中で、虐待の未然防止及び早期発見に向け、関係機関と協力を行った。(子ども子育て支援課、子ども家庭支援センター相談係)
- ・「国分寺市子どもいじめ虐待防止条例」の確認の研修を行った。
研修実施日：4月4日 参加人数 29名
- ・日常の中での子どもたちの行動を理解するために、スタッフのモヤモヤした事例の言語化と相互理解を深めるためのグループセッションを研修として行った。
研修実施日：7月4日 参加人数 31名
- ・多様な子どもたちの利用がある中、子どもたちの衝動に流されすぎず、共感的な関係を築いてゆくために、リフレクション(振り返り)の研修を行った。
研修実施日：2月6日 参加人数 25名

3、青少年育成のための地域活動団体への支援

●地域活動団体等への支援

- ・地域活動団体の受け入れ、支援を行った。

自主保育グループ：2グループ(ぐるんぱ、ハンティントン)：日常的に利用

放課後デイサービス「ツリーハウス」：日常的に利用

ガールスカウト：7月24日(日) 子ども10名 引率5名

新町学童保育所：3月31日(金) 子ども75名 大人4名

学童保育じゃんぷ東戸倉：9月10日(土) 子ども4名 大人3名

放課後デイサービス「こどもクラブ」：11月13日(日) 子ども20名 大人10名

森の幼稚園：3月15日 子ども10名 大人5名

●地域支援

- ・毎朝のゴミ拾い（西武線沿いの道路のゴミ拾い）を行った。
- ・地域の高齢者などをボランティアとして受け入れ、相互理解を深めた。
- ・土日限定カフェ（どーにっち）を開催。近隣の方の利用があり、交流の場となった。
- ・同地域で活動している人形劇サークル「おはなしのくにピッピ」による読み聞かせをおこなった。（5月17日、11月8日：36組の親子の参加）

4、安全管理

- ・朝と午後の1日2回のミーティングで、安全点検の確認と申し送りを行った。
 - ① 場内の遊具設備の点検補修
 - ② 地面に落ちているクギなどの危険物の除去
 - ③ 端材や資材置き場の点検
 - ④ 折れやすい木などのチェック
- ・ヒヤリハットの記録を定期的に行い、その都度、スタッフ全員で共有する。また、毎月の会議で確認を行い対策をとった。
- ・安全管理マニュアル作成
プレイステーション、親子ひろば「どんどこ」共に、安全管理マニュアルを更新した。土日カフェ、夕暮れカフェ、駄菓子屋の3つの新事業についても、安全管理マニュアルを新規に作成した。
- ・危機管理マニュアルを作成し、避難訓練を行い、更新をした。
- ・親子ひろばについては一日2回の消毒、清掃時におもちゃの破損の点検
- ・ケガや事故については随時担当課に報告し、適切に対応した。

5、利用者懇談会の開催

- ・利用者懇談会を子ども、大人、それぞれを対象に開催した。
子ども対象 令和4年9月24日、25日 参加者：小学11名、中高生2名
大人対象 令和4年9月25日 参加者：大人5名、中高生2名

6、情報発信

- ・全校小学校中学校にチラシの配布を行った。
- ・施設正門、玄関口には、スタッフが制作した大型の手作り看板や場内図、説明看板を設置。
- ・玄関に、活動内容や施設の概要について書いたチラシを置いて誰でも持ち帰ることができるようにした。
- ・国分寺子ども・子育て支援円卓会議に出て得た地域の子育て情報は、毎月分かりやすく掲示板でお知らせした。
- ・親子ひろばでも、地域の遊び場や子育て相談の情報など、見やすく掲示し、分類別にチラ

シを置いた。

- ・ ツイッター、インスタグラムのアカウントを取得し広報した。

【その他の活動】

○駄菓子屋（仕事体験）

開場日：毎日 年間 261回 仕事体験参加者 2,043名

- 夕暮れカフェ（中高生、学校に行っていない子どものための、革細工ワークショップ、火起こしなどの体験活動、カフェ）

開場日：平日毎日 年間 189回 利用者 876名（中学生 566名、高校生 310名）

○土日カフェ

開場日：土日毎回 年間 73回 利用者 2,291名

- ぶんさんウオークに参加。昔遊びコーナーで子どもたちにベーゴマ、けん玉などを紹介。

同時に移転後のプレイステーションの周知に努めた。11月18日～30日

- 恋ヶ窪公民館祭に参加。昔遊びコーナー、駄菓子屋出張などで、プレイステーションの周知に努めた。10月25日